

# 岡山県感染症週報 2015 年 第 6 週 (2 月 2 日～2 月 8 日)

岡山県は『インフルエンザ警報』発令中です

## ◆2015 年 第 6 週 (2/2～2/8) の感染症発生動向 (届出数)

### ■全数把握感染症の発生状況

- 第 4 週 2 類感染症 結核 2 名 (20 代 男 1 名、40 代 男 1 名)  
 5 類感染症 アメーバ赤痢 1 名 (40 代 女)  
 後天性免疫不全症候群 1 名 (50 代 男)
- 第 5 週 2 類感染症 結核 1 名 (80 代 男)  
 3 類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 1 名 (O 型別不明: 20 代 女)  
 5 類感染症 侵襲性肺炎球菌感染症 1 名 (90 代 女)
- 第 6 週 2 類感染症 結核 2 名 (40 代 女 2 名)  
 4 類感染症 オウム病 1 名 (40 代 男)

### ■定点把握感染症発生状況

- インフルエンザは、県全体で 1776 名 (定点あたり 35.69 → 21.14 人) の報告があり、前週より減少しました。
- 感染性胃腸炎は、県全体で 384 名 (定点あたり 8.07 → 7.11 人) の報告があり、前週よりわずかに減少しました。
- A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、県全体で 81 名 (定点あたり 1.41→1.50 人) の報告があり、前週とほぼ同数でした。

### 【第 7 週 速報】

- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が 28 施設でありました。(2 月 9 日～10 日)

1. [インフルエンザ](#)は、県全体で 1776 名 (定点あたり 35.69 → 21.14 人) の報告があり、前週より減少しました。岡山県は、『インフルエンザ警報』発令中であり、ひきつづき広く注意を呼びかけています。地域別では、倉敷市 (31.06 人)、備中地域 (23.42 人)、岡山市 (20.45 人) の順で定点あたり報告数が多くなっています。全ての地域で患者の減少がみられましたが、依然として多くの患者が報告されており、県内全域で大きな流行が継続しています。インフルエンザによる入院患者は 10 名の報告がありました。インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が 78 施設であり、第 7 週も多数報告されています。県内の発生状況など詳しくは、「[インフルエンザ週報](#)」及び岡山県感染症情報センターホームページ『[2014/2015 年シーズン インフルエンザ情報](#)』をご覧ください。
2. [感染性胃腸炎](#)は、県全体で 384 名 (定点あたり 8.07 → 7.11 人) の報告があり、前週よりわずかに減少しましたが、依然として多くの患者が報告されています。地域別では、備北地域 (12.50 人)、美作地域 (9.83 人)、備前地域 (7.80 人) の順で定点あたり報告数が多くなっています。備北地域の飲食店において、感染性胃腸炎様の症状を呈する食中毒事件が発生しました (2 月 9 日[報道発表資料](#))。手洗いの徹底や下痢便・嘔吐物の適切な処理など、感染予防と拡大防止に努めてください。県内の発生状況など、詳しくは「[感染性胃腸炎週報](#)」および岡山県感染症情報センターホームページ『[2014/2015 年 感染性胃腸炎情報](#)』をご覧ください。
3. [A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎](#)は、県全体で 81 名 (定点あたり 1.41 → 1.50 人) の報告があり、前週とほぼ同数でした。過去 10 年間の同時期と比較して、最も多い状態です。地域別では、備北地域 (3.00 人)、真庭地域 (2.50 人)、岡山市 (2.36 人) の順で定点あたり報告数が多くなっています。県内の発生状況など詳しくは、「[今週の注目感染症](#)」をご覧ください。

## 流行の推移と発生状況

| 疾病名            | 推移                                                                                  | 発生状況                                                             | 疾病名           | 推移                                                                                  | 発生状況  |
|----------------|-------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------|---------------|-------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| インフルエンザ        |    | ★★★★★                                                            | RSウイルス感染症     |  | ★★    |
| 咽頭結膜熱          |    | ★                                                                | A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 |  | ★★★★★ |
| 感染性胃腸炎         |    | ★★★                                                              | 水痘            |  | ★     |
| 手足口病           |    | ★                                                                | 伝染性紅斑         |  | ★     |
| 突発性発疹          |    | ★                                                                | 百日咳           |  |       |
| ヘルパンギーナ        |    |                                                                  | 流行性耳下腺炎       |  | ★     |
| 急性出血性結膜炎       |    |                                                                  | 流行性角結膜炎       |  | ★     |
| 細菌性髄膜炎         |    |                                                                  | 無菌性髄膜炎        |  |       |
| マイコプラズマ肺炎      |    |                                                                  | クラミジア肺炎       |  |       |
| 感染性胃腸炎(ロタウイルス) |  | * 感染性胃腸炎(ロタウイルス)については、2013 年第 42 週から報告対象となったため、前週からの推移のみ表示しています。 |               |                                                                                     |       |

【記号の説明】 前週からの推移：  : 2 倍以上の減少  : 1.1～2 倍未満の減少  : 1.1 未満の増減  
 : 1.1～2 倍未満の増加  : 2 倍以上の増加

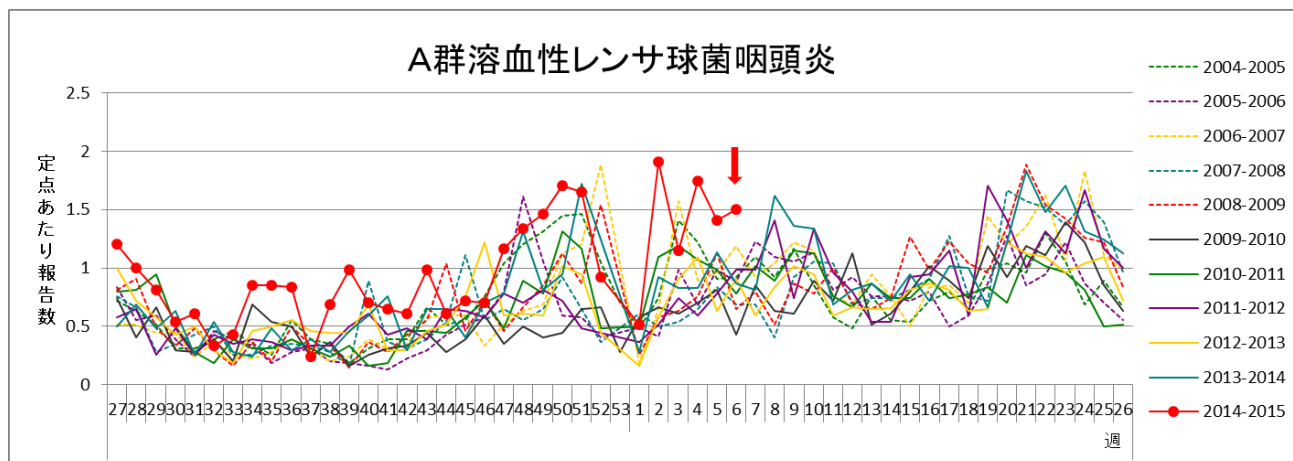
発生状況：今週の流行状況を過去5年間と比較し、5段階で表示しています。

空白:発生なし ★: 僅か ★★:少し ★★★:やや多い ★★★★:多い ★★★★★:非常に多い

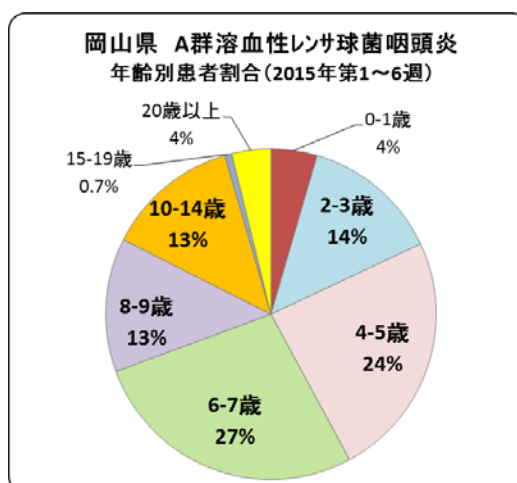
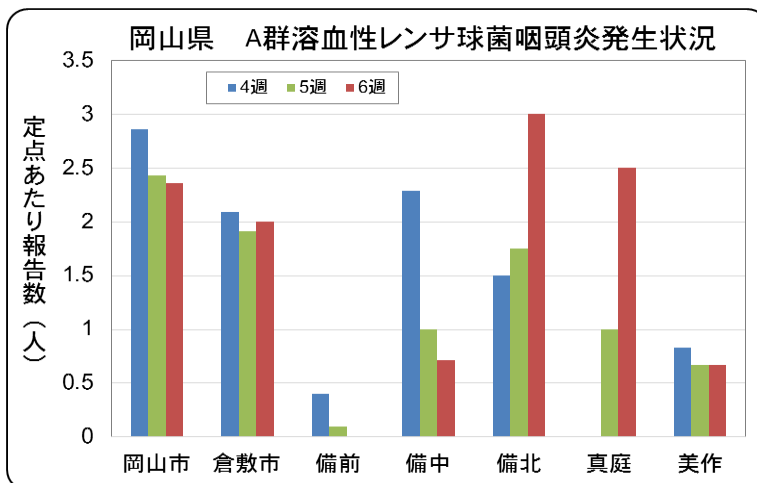
## 今週の注目感染症

### A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

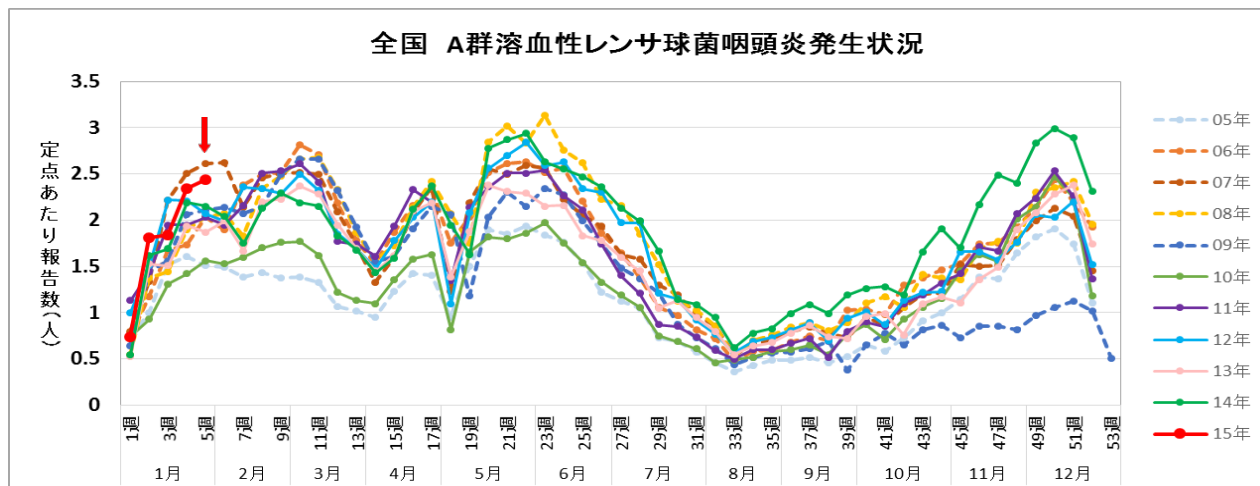
【岡山県の発生状況】



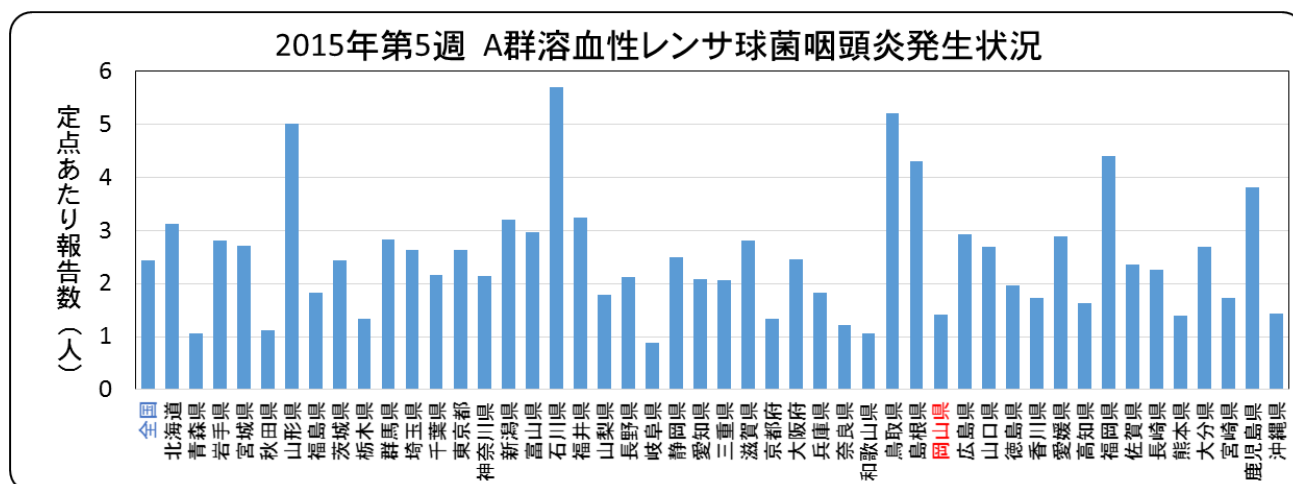
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、県全体で81名（定点あたり1.41→1.50人）の報告があり、前週とほぼ同数でした。過去10年間の同時期と比較して最も多い状態です。地域別では、備北地域（3.00人）、真庭地域（2.50人）、岡山市（2.36人）の順で定点あたり報告数が多くなっており、備北地域（1.75→3.00人）及び真庭地域（1.00→2.50人）では前週より大きく増加しました。2015年第1週からの年齢別累計割合は、6-7歳27%、4-5歳24%、2-3歳14%となっており、10歳未満の小児が全体の約82%を占めています。



【全国の発生状況】



全国の2015年第5週までの発生状況を見ると、第2週（1/5～1/11）から4週連続で増加しており、過去10年間の同時期と比べて多い状態で推移しています。



都道府県別では、石川県（5.69 人）、鳥取県（5.21 人）、山形県（5.00 人）の順で定点あたり報告数が多くなっており、中国地方でも多く報告されています。

#### 【A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎とは】

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、A 群レンサ球菌による上気道感染症です。感染経路はヒトからヒトへの飛沫感染や接触感染が主ですが、食品を介する経口感染もあるといわれています。そのため、家庭での兄弟間や、学校・保育施設などの小児の集団生活施設内での感染も多いとされています。季節的には、冬季及び春から初夏にかけて 2 つの報告数のピークが確認され、就学前から学童期の小児に多い感染症です。

#### 【症状】

潜伏期間は 2～5 日で、突然の発熱と体のだるさ・のどの痛みで発症し、しばしば嘔吐を伴います。また、口腔内に小点状出血あるいは莓舌（イチゴのように赤くブツブツしている舌）がみられることがあります。通常、発熱は 3～5 日以内に下がり、主症状は 1 週間以内に消失する予後良好な疾患ですが、菌が産生する毒素に免疫がない場合は猩紅熱に発展する場合があります。猩紅熱では、発熱開始後 12～24 時間すると点状紅斑様、日焼け様の皮疹が出現し、針頭大の皮疹により、皮膚が紙やすり様の手触りになることがあります。合併症として、肺炎、髄膜炎、敗血症などの化膿性疾患、あるいはリウマチ熱、急性糸球体腎炎などの非化膿性疾患を生じることがあります。

#### 【治療・予防】

治療には、ペニシリン系抗菌薬が第 1 選択薬とされていますが、ペニシリンアレルギーがある場合は、マクロライド系やセフェム系の抗菌薬が投与されます。いずれの薬剤も少なくとも 10 日間は、確実に投与することが必要です。

予防としては、患者との濃厚接触を避けることが最も重要であり、うがい・手洗いの実施や、咳エチケットなどの一般的な予防法が効果的とされています。

[A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎とは（国立感染症研究所）](#)

[IDWR 2012 年第 20 週 <注目すべき感染症> A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎（国立感染症研究所）](#)

## インフルエンザ週報 2015年 第6週 (2月2日～2月8日)

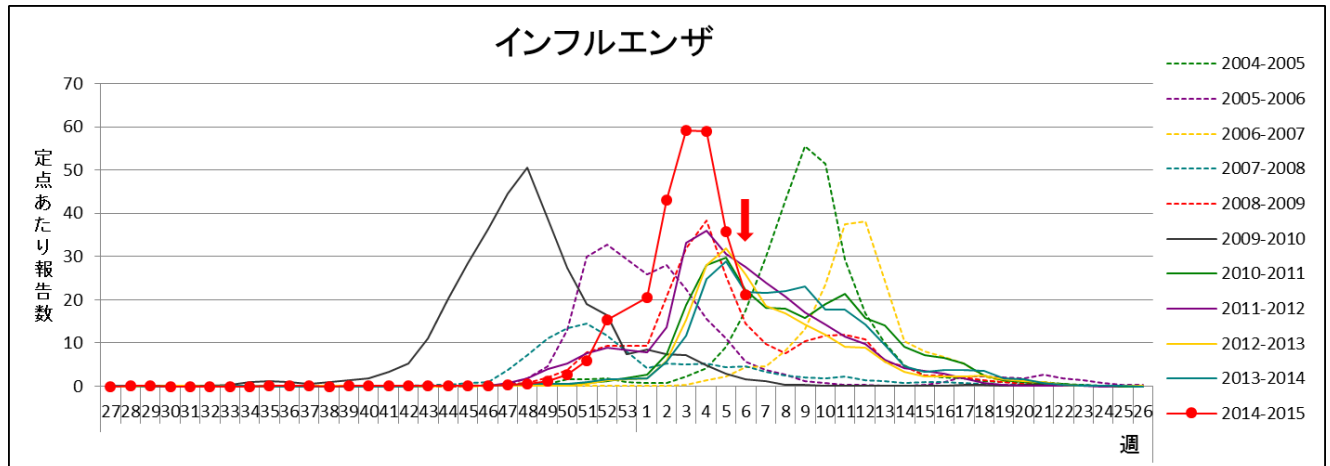
岡山県は『インフルエンザ警報』発令中です

## ➤ 岡山県の流行状況

- インフルエンザは、県全体で 1776 名（定点あたり 35.69 → 21.14 人）の報告があり、前週より減少しました。
- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が 78 施設でありました。
- インフルエンザによる入院患者 10 名の報告がありました。

## 【第7週 速報】

- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が 28 施設でありました（2月9日～10日）。



※ インフルエンザは、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、第27週～翌年第26週で、グラフを作成しています。

インフルエンザは、県全体で 1776 名（定点あたり 35.69 → 21.14 人）の報告があり、2週連続で減少しました（84 定点医療機関報告）。岡山県は、『インフルエンザ警報』発令中であり、ひきつづき広く注意を呼びかけています。

地域別では、倉敷市（31.06 人）、備中地域（23.42 人）、岡山市（20.45 人）の順で定点あたり報告数が多くなっています。全ての地域で患者の減少がみられましたが、依然として県内全域で大きな流行が継続しています。

第6週の学校等の臨時休業は、78 施設から報告がありました。前週（160 施設）より大きく減少しているものの、多数の施設から臨時休業が報告されており、ひきつづき幼稚園児・小学生・中学生を中心とした集団の中での感染に注意してください。

『外出後や食事前の手洗いを徹底する』『人混みを避け、人混みに入るときはマスクを着用する』『十分な睡眠を取る』など、さらなる感染予防に努めてください。また症状のある方は早めに医療機関を受診するとともに、マスクを着用するなど咳エチケットを心がけましょう。

## ◆インフルエンザは流行期に入っています。 さらなる感染予防に努めましょう。

## 【 予 防 】

- \* 外出後は手洗いをしましょう。アルコールを含んだ消毒剤で手を消毒するのも効果的です。
- \* 人混みでは、マスクを着用しましょう。
- \* 十分な睡眠をとり、バランスの良い食事を心がけて、抵抗力をつけましょう。
- \* 室内では加湿器を使うなど、適度な湿度(50～60%)を保ちましょう。

## 【 かかったかな？という時には 】

- \* 早めに医療機関を受診しましょう。
- \* 周りの人にうつさないように、「咳エチケット」を心がけましょう。
- \* 水分を十分にとり、安静にして休養をとりましょう。



# 1. 地域別発生状況

前週からの推移（単位：人）

| 地域名   | 発生状況  |       | 推移 | 地域名 | 発生状況  |       | 推移 |
|-------|-------|-------|----|-----|-------|-------|----|
| 岡山県全体 | 患者数   | 1776  | ▲  | 備 中 | 患者数   | 281   | ▲  |
|       | 定点あたり | 21.14 |    |     | 定点あたり | 23.42 |    |
| 岡山市   | 患者数   | 450   | ▲  | 備 北 | 患者数   | 111   | ▲  |
|       | 定点あたり | 20.45 |    |     | 定点あたり | 18.50 |    |
| 倉敷市   | 患者数   | 497   | ▲  | 真 庭 | 患者数   | 55    | ▲  |
|       | 定点あたり | 31.06 |    |     | 定点あたり | 18.33 |    |
| 備 前   | 患者数   | 232   | ▲  | 美 作 | 患者数   | 150   | ▲  |
|       | 定点あたり | 15.47 |    |     | 定点あたり | 15.00 |    |

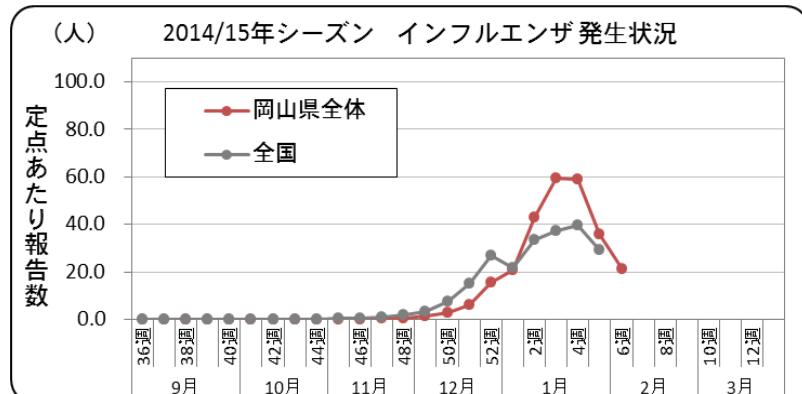
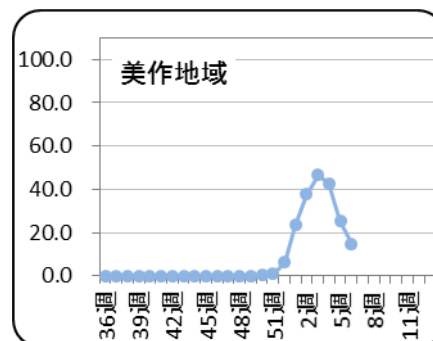
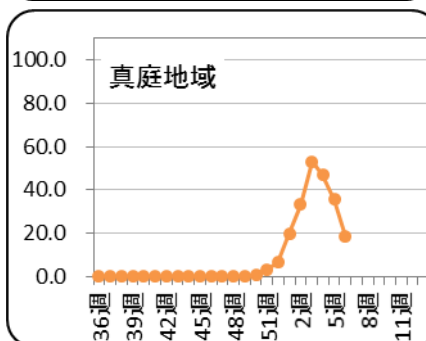
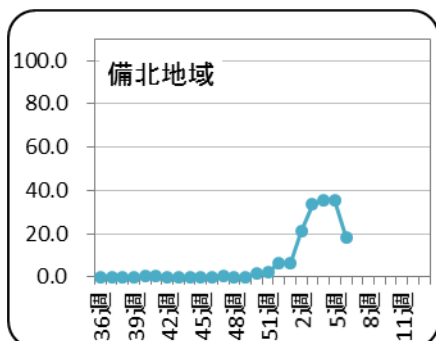
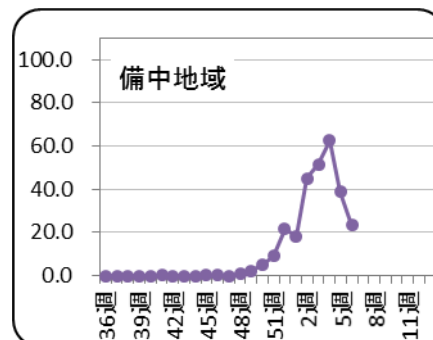
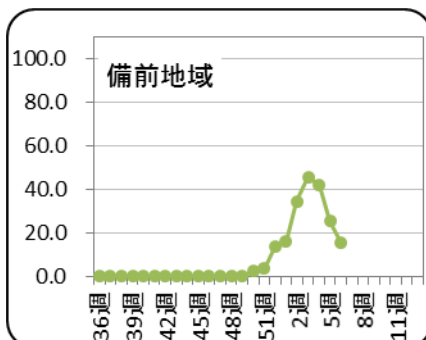
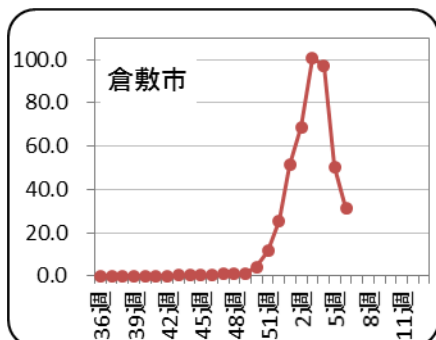
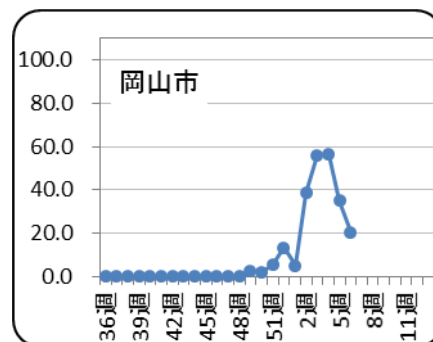
【記号の説明】 前週からの推移： 2倍以上の減少 ↓ 1.1～2倍未満の減少 ▼ 1.1未満の増減 →  
1.1～2倍未満の増加 ▲ 2倍以上の増加 ↑

## インフルエンザ感染症マップ



### <インフルエンザ発生レベル 基準>

| レベル3       |       | レベル2         |
|------------|-------|--------------|
| 開始基準値      | 終息基準値 | 基準値          |
| 30         | 10    | 10以上<br>30未満 |
| レベル1       |       | 報告なし         |
| 基準値        |       | 基準値          |
| 0<<br>10未満 |       | 0            |

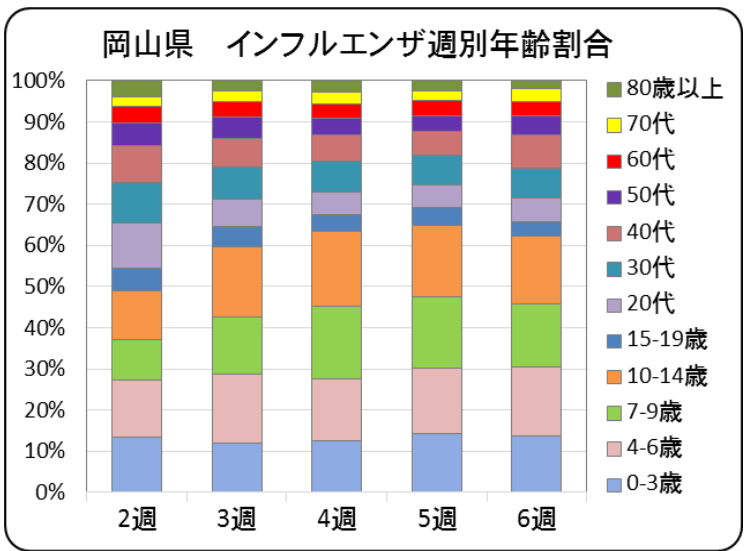
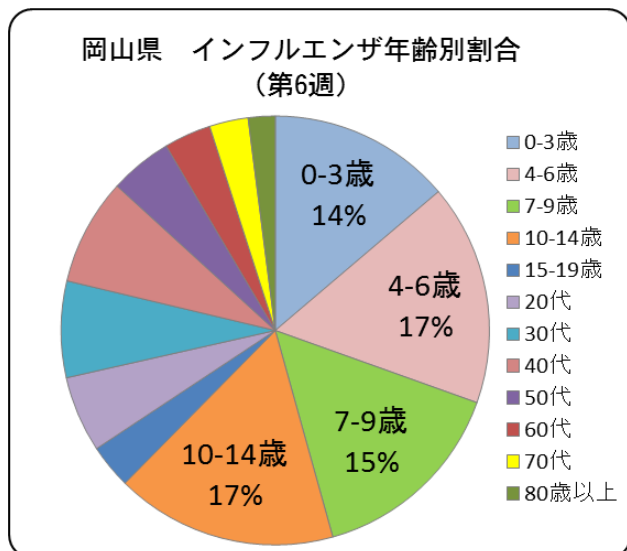
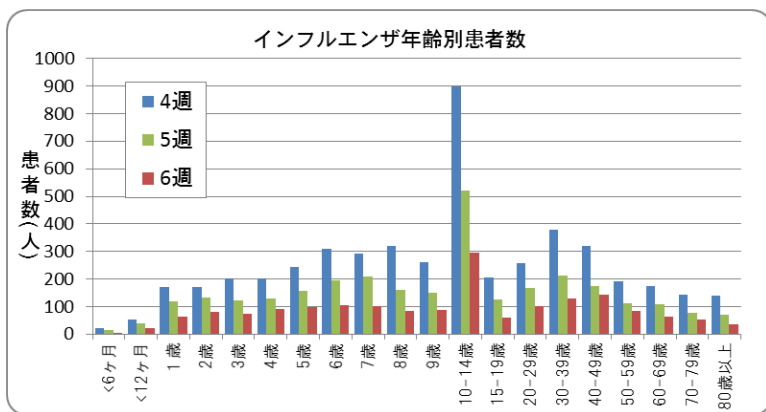


全国集計第5週（1/26～2/1）速報値によると、全国の定点あたり報告数は29.11人であり、前週（39.42人）よりも減少しました。

都道府県別では、大分県（58.50人）、鹿児島県（53.12人）、山口県（51.72人）の順で定点あたり報告数が多くなっており、44都府県で前週の報告数よりも減少しました。

## 2. 年齢別発生状況

第6週の年齢別割合は、10-14歳及び4-6歳 17%、7-9歳 15%、0-3歳 14%の順で報告数が多くなっています。幼稚園児・小学生・中学生に該当する年齢層が患者の約半数を占めています。



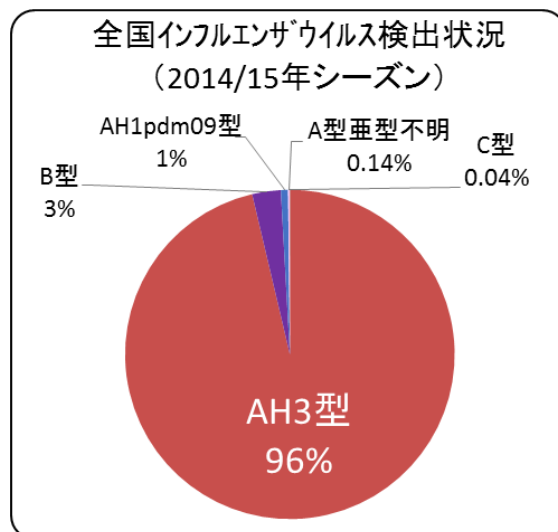
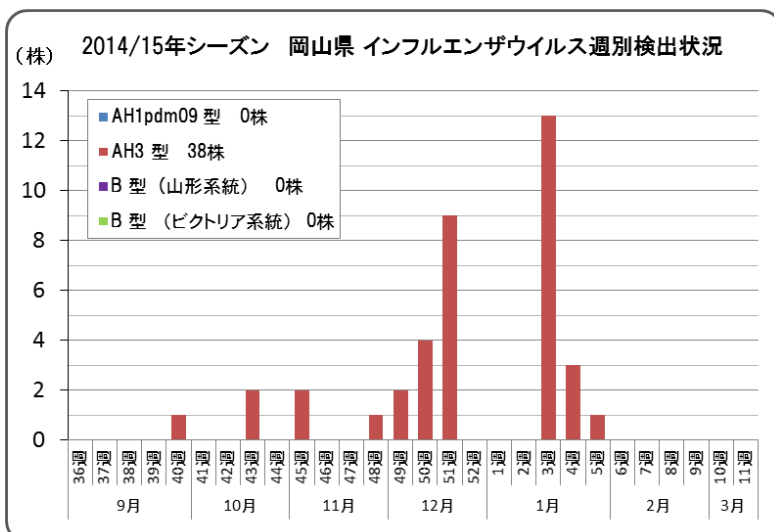
## 3. インフルエンザウイルス検出状況

第6週、環境保健センターで判明したインフルエンザウイルスはありませんでした。今シーズンこれまでに環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスは、AH3型が38株（100%）となっています。

・ [\(岡山県 インフルエンザウイルス分離・検出状況\)](#)

全国で検出されたインフルエンザウイルスは、岡山県と同様、AH3型の検出割合が最も多く96%、次いでB型が3%、AH1pdm09型が1%の順に検出されています。（2015年2月12日現在）

・ [\(インフルエンザウイルス分離・検出速報（国立感染症研究所）\)](#)

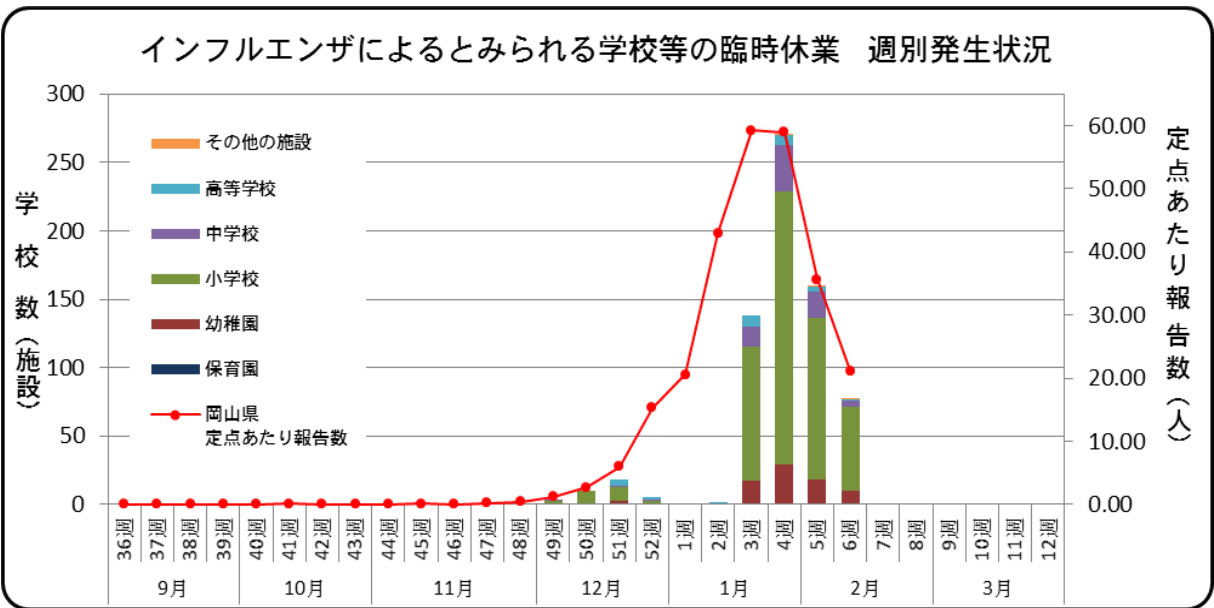


4. インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数

インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が 78 施設でありました。

【第 6 週 臨時休業施設数】

▽岡山市 39 ▽倉敷市 14 ▽津山市 4 ▽玉野市 4 ▽笠岡市 4 ▽総社市 4 ▽吉備中央町 2  
▽瀬戸内市 1 ▽真庭市 1 ▽美作市 1 ▽早島町 1 ▽鏡野町 1 ▽勝央町 1 ▽奈義町 1



1) 有症者数・欠席者数および臨時休業措置の内訳

| 地域名*  | 有症者数 |       | うち欠席者数 |      | 施設数合計 |     | 休園・休校数 |    | 学年閉鎖施設数 |     | 学級閉鎖施設数 |     | 初発年月日     |
|-------|------|-------|--------|------|-------|-----|--------|----|---------|-----|---------|-----|-----------|
|       | 今週   | 累計    | 今週     | 累計   | 今週    | 累計  | 今週     | 累計 | 今週      | 累計  | 今週      | 累計  |           |
| 岡山県全体 | 1305 | 11194 | 971    | 8728 | 78    | 687 | 1      | 15 | 14      | 162 | 63      | 510 | H26.10.21 |
| 岡山市   | 566  | 4711  | 408    | 3552 | 39    | 275 | 0      | 2  | 6       | 37  | 33      | 236 | H26.12.1  |
| 倉敷市   | 433  | 2669  | 345    | 2189 | 14    | 144 | 0      | 3  | 1       | 22  | 13      | 119 | H26.10.21 |
| 備前地域  | 48   | 631   | 35     | 532  | 6     | 51  | —      | —  | 2       | 19  | 4       | 32  | H26.12.9  |
| 備中地域  | 124  | 1470  | 75     | 1154 | 10    | 111 | 0      | 5  | 4       | 41  | 6       | 65  | H26.12.8  |
| 備北地域  | 0    | 247   | 0      | 121  | 0     | 6   | 0      | 1  | 0       | 3   | 0       | 2   | H27.1.16  |
| 真庭地域  | 40   | 193   | 28     | 160  | 1     | 18  | 0      | 1  | 1       | 10  | 0       | 7   | H26.12.16 |
| 美作地域  | 94   | 1273  | 80     | 1020 | 8     | 82  | 1      | 3  | 0       | 30  | 7       | 49  | H27.1.13  |

\* 地域名は、保健所管轄地域を表しています。

2) 臨時休業施設数の内訳

第 6 週：78 施設 累計：687 施設

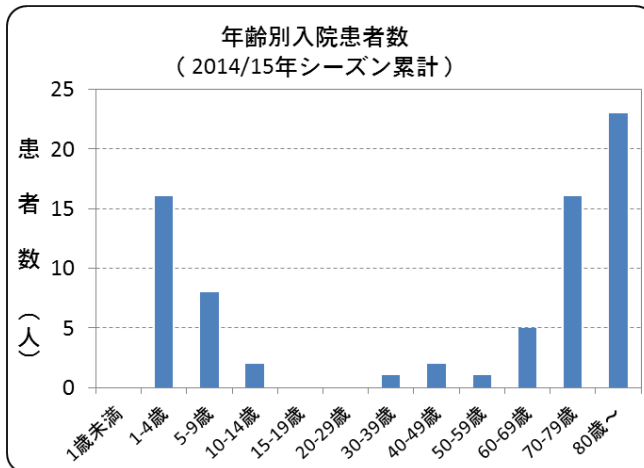
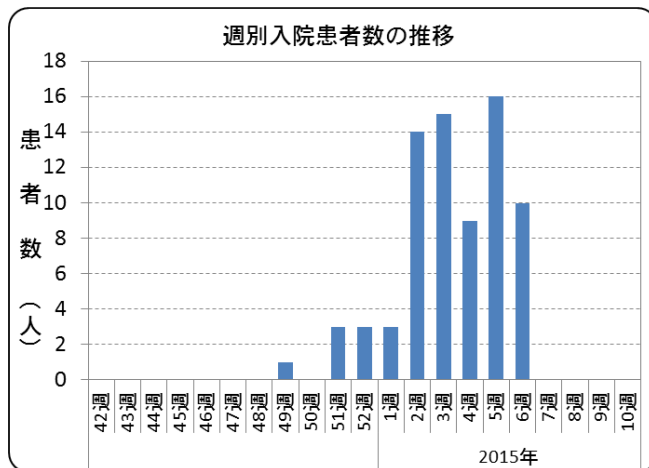
|     | 保育所 |    | 幼稚園 |    | 小学校 |     | 中学校 |    | 高等学校 |    | その他 |    |
|-----|-----|----|-----|----|-----|-----|-----|----|------|----|-----|----|
|     | 今週  | 累計 | 今週  | 累計 | 今週  | 累計  | 今週  | 累計 | 今週   | 累計 | 今週  | 累計 |
| 施設数 | —   | —  | 10  | 77 | 61  | 505 | 5   | 77 | 1    | 25 | 1   | 3  |



## 5. インフルエンザによる入院患者報告数（県内基幹定点 5 医療機関による報告）

インフルエンザによる入院患者は、10 名（1～4 歳 1 名、5～9 歳 1 名、40～49 歳 1 名、70～79 歳 4 名、80 歳以上 3 名）の報告がありました。入院患者の多くは、4 歳以下の幼児と 70 歳以上の高齢者となっています。

幼児や高齢者、慢性疾患・代謝疾患をもつ人、免疫機能が低下している人などでは重症化することがありますので注意が必要です。幼児ではまれに脳炎を起こすことがあります。水分をとった後すぐ吐いてしまう、元気がない、意識がはっきりせずとうとうとしている、けいれんを起こす、このような症状がみられるときは、すぐに医療機関に相談しましょう。



### 【第 6 週 入院患者報告数】

| 年齢              | 1 歳未満 | 1～4 歳 | 5～9 歳 | 10～14 歳 | 15～19 歳 | 20～29 歳 | 30～39 歳 | 40～49 歳 | 50～59 歳 | 60～69 歳 | 70～79 歳 | 80 歳以上 | 計 * |
|-----------------|-------|-------|-------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|--------|-----|
| 入院患者数           |       | 1     | 1     |         |         |         |         | 1       |         |         | 4       | 3      | 10  |
| ICU 入室          |       |       |       |         |         |         |         |         |         |         |         |        |     |
| 人工呼吸器の利用        |       |       |       |         |         |         |         |         |         |         |         |        |     |
| 頭部 CT 検査 (予定含)  |       |       |       |         |         |         |         |         |         |         |         |        |     |
| 頭部 MRI 検査 (予定含) |       |       |       |         |         |         |         |         |         |         |         |        |     |
| 脳波検査 (予定含)      |       |       |       |         |         |         |         |         |         |         |         |        |     |
| いずれにも該当せず       |       | 1     | 1     |         |         |         |         | 1       |         |         | 4       | 3      | 10  |

\* 重複あり

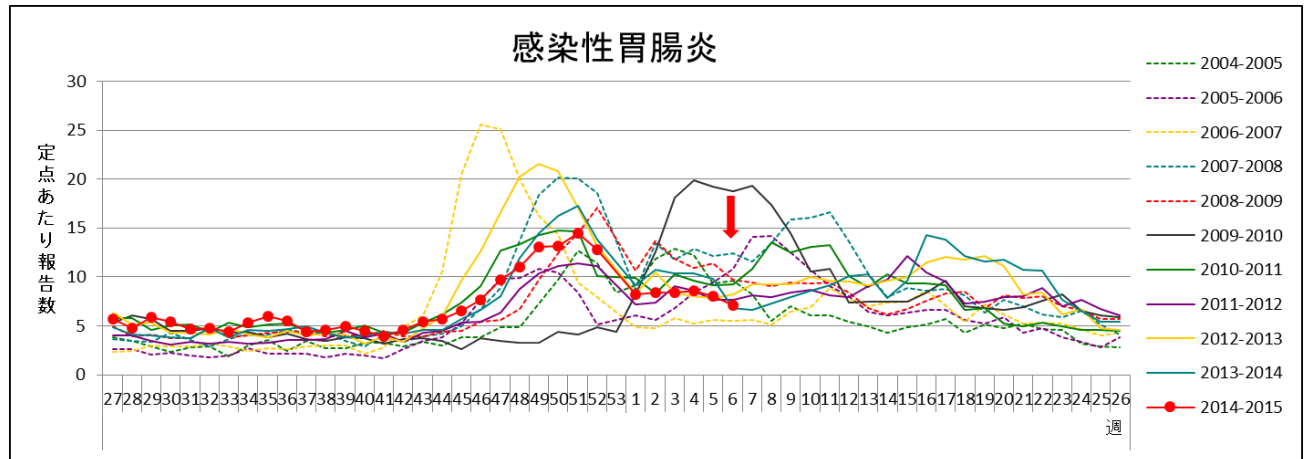
### 【2014 年 9 月 1 日以降に入院した患者の累計数】

| 年齢              | 1 歳未満 | 1～4 歳 | 5～9 歳 | 10～14 歳 | 15～19 歳 | 20～29 歳 | 30～39 歳 | 40～49 歳 | 50～59 歳 | 60～69 歳 | 70～79 歳 | 80 歳以上 | 計 * |
|-----------------|-------|-------|-------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|--------|-----|
| 入院患者数           |       | 16    | 8     | 2       |         |         | 1       | 2       | 1       | 5       | 16      | 23     | 74  |
| ICU 入室          |       |       |       |         |         |         |         |         |         |         | 3       |        | 3   |
| 人工呼吸器の利用        |       |       |       |         |         |         |         |         |         |         |         |        |     |
| 頭部 CT 検査 (予定含)  |       | 5     |       |         |         |         |         |         |         | 2       | 3       | 3      | 13  |
| 頭部 MRI 検査 (予定含) |       | 1     |       | 1       |         |         |         |         |         |         | 2       |        | 4   |
| 脳波検査 (予定含)      |       | 1     |       |         |         |         |         |         |         |         | 1       |        | 2   |
| いずれにも該当せず       |       | 11    | 8     | 1       |         |         | 1       | 2       | 1       | 3       | 11      | 20     | 58  |

\* 重複あり

# 感染性胃腸炎週報 2015年 第6週 (2月2日～2月8日)

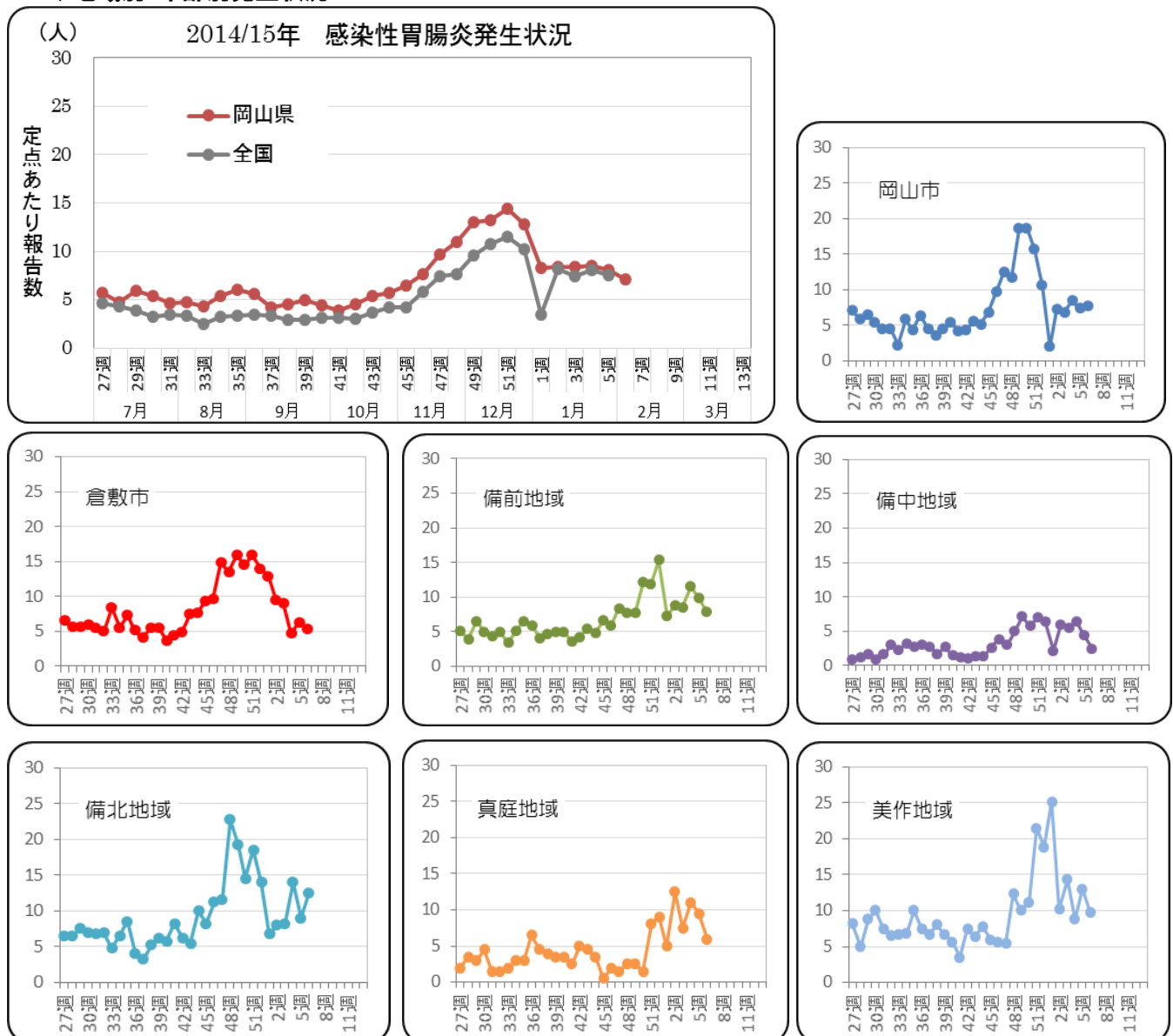
○感染性胃腸炎は、県全体で384名（定点あたり8.07 → 7.11人）の報告がありました（54定点医療機関報告）。



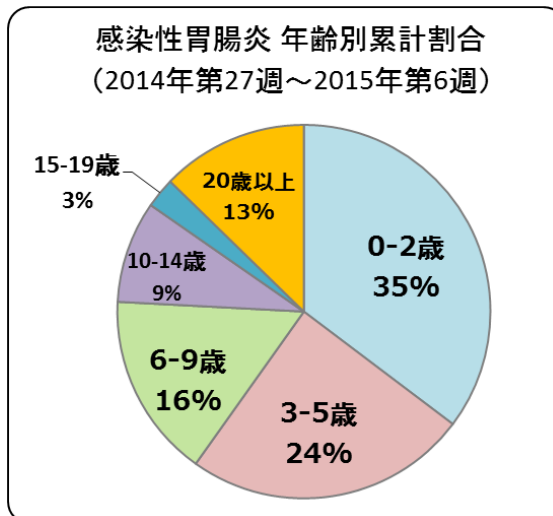
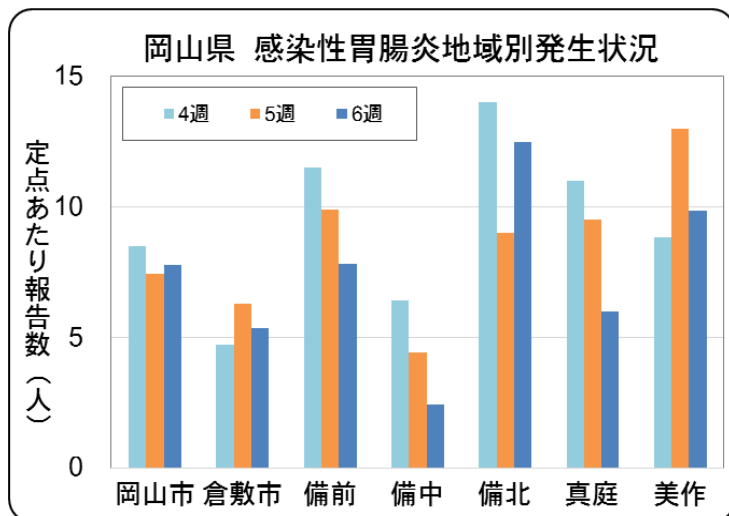
※感染性胃腸炎は秋から翌年の春にかけて流行するため、27週～翌年26週でグラフを作成しています。

感染性胃腸炎は、県全体で384名（定点あたり8.07 → 7.11人）の報告があり、前週よりわずかに減少しましたが、依然として多くの患者が報告されています。備北地域の飲食店において、感染性胃腸炎様の症状を呈する食中毒事件が発生しました（2月9日 [報道発表資料](#)）。全国では、ノロウイルスの集団感染も発生しています。学校や福祉施設、病院などでは、手洗いの徹底や下痢便・嘔吐物の適切な処理など、感染予防と拡大防止に努めてください。

## ◆地域別・年齢別発生状況



地域別では、備北地域（12.50 人）、美作地域（9.83 人）、備前地域（7.80 人）の順で定点あたり報告数が多くなっており、備北地域（9.00 → 12.50 人）では前週より増加しています。年齢別累計では、5 歳以下の乳幼児が全体の 59% を占めています。



## ノロウイルスに感染しないためには

### 1. 最も大切なことは手を洗うことです。

排便後や、調理・食事の前には、石けんと流水で十分に手を洗いましょう。

### 2. 処理をする人自身が感染しないように気をつけましょう。

嘔吐物や下痢便にはウイルスが大量に含まれています。処理するときは、使い捨ての上着や、マスク、手袋を着用し、下痢便、嘔吐物をペーパータオル等で静かに拭き取った後は、**次亜塩素酸ナトリウム（家庭用塩素系漂白剤でも代用可）**で浸すように床を拭き取り、その後水拭きをします。また、処理をした後はしっかりと流水で手を洗いましょう。ノロウイルスにアルコールは消毒効果が低いとされています。

### 3. 嘔吐物や下痢便で汚れた衣類は、**85℃で1分間以上の熱水洗濯か次亜塩素酸ナトリウム（家庭用塩素系漂白剤でも代用可）**の消毒が有効です。

嘔吐物や下痢便で汚れた衣類は、付着した汚物を除去し、洗剤を入れた水の中で静かにもみ洗った後、熱水洗濯か次亜塩素酸ナトリウムで消毒をしましょう。

※塩素系漂白剤の使用に当たっては「使用上の注意」を確認しましょう。

### 4. 食品は、中心部まで十分に加熱しましょう。（中心部を 85～90℃で 90 秒間以上）

[ノロウイルスに関する Q&A（厚生労働省ホームページ）](#)

[食中毒（ノロウイルス）注意報を発令中です（岡山県ホームページ生活衛生課）](#)

保健所別報告患者数 2015年 6週 ( 2015/02/02～2015/02/08 )

2015年2月10日

| 疾病名            | 全県   |       | 岡山市 |       | 倉敷市 |       | 備前  |       | 備中  |       | 備北  |       | 真庭  |       | 美作  |       |
|----------------|------|-------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|
|                | 報告数  | 定点当   | 報告数 | 定点当   | 報告数 | 定点当   | 報告数 | 定点当   | 報告数 | 定点当   | 報告数 | 定点当   | 報告数 | 定点当   | 報告数 | 定点当   |
| インフルエンザ        | 1776 | 21.14 | 450 | 20.45 | 497 | 31.06 | 232 | 15.47 | 281 | 23.42 | 111 | 18.50 | 55  | 18.33 | 150 | 15.00 |
| RSウイルス感染症      | 30   | 0.56  | 7   | 0.50  | 9   | 0.82  | 1   | 0.10  | 1   | 0.14  | 1   | 0.25  | —   | —     | 11  | 1.83  |
| 咽頭結膜熱          | 7    | 0.13  | 5   | 0.36  | 1   | 0.09  | —   | —     | —   | —     | —   | —     | —   | —     | 1   | 0.17  |
| A群溶血性レンサ球菌咽頭炎  | 81   | 1.50  | 33  | 2.36  | 22  | 2.00  | —   | —     | 5   | 0.71  | 12  | 3.00  | 5   | 2.50  | 4   | 0.67  |
| 感染性胃腸炎         | 384  | 7.11  | 109 | 7.79  | 59  | 5.36  | 78  | 7.80  | 17  | 2.43  | 50  | 12.50 | 12  | 6.00  | 59  | 9.83  |
| 水痘             | 23   | 0.43  | 8   | 0.57  | 6   | 0.55  | 3   | 0.30  | —   | —     | 2   | 0.50  | —   | —     | 4   | 0.67  |
| 手足口病           | 20   | 0.37  | 6   | 0.43  | 8   | 0.73  | 4   | 0.40  | —   | —     | 2   | 0.50  | —   | —     | —   | —     |
| 伝染性紅斑          | 3    | 0.06  | 1   | 0.07  | 2   | 0.18  | —   | —     | —   | —     | —   | —     | —   | —     | —   | —     |
| 突発性発疹          | 13   | 0.24  | 9   | 0.64  | 2   | 0.18  | —   | —     | —   | —     | —   | —     | 1   | 0.50  | 1   | 0.17  |
| 百日咳            | —    | —     | —   | —     | —   | —     | —   | —     | —   | —     | —   | —     | —   | —     | —   | —     |
| ヘルパンギーナ        | —    | —     | —   | —     | —   | —     | —   | —     | —   | —     | —   | —     | —   | —     | —   | —     |
| 流行性耳下腺炎        | 6    | 0.11  | 2   | 0.14  | —   | —     | —   | —     | 1   | 0.14  | —   | —     | —   | —     | 3   | 0.50  |
| 急性出血性結膜炎       | —    | —     | —   | —     | —   | —     | —   | —     | —   | —     | —   | —     | —   | —     | —   | —     |
| 流行性角結膜炎        | 1    | 0.08  | 1   | 0.20  | —   | —     | —   | —     | —   | —     | —   | —     | —   | —     | —   | —     |
| 細菌性髄膜炎         | —    | —     | —   | —     | —   | —     | —   | —     | —   | —     | —   | —     | —   | —     | —   | —     |
| 無菌性髄膜炎         | —    | —     | —   | —     | —   | —     | —   | —     | —   | —     | —   | —     | —   | —     | —   | —     |
| マイコプラズマ肺炎      | —    | —     | —   | —     | —   | —     | —   | —     | —   | —     | —   | —     | —   | —     | —   | —     |
| クラミジア肺炎        | —    | —     | —   | —     | —   | —     | —   | —     | —   | —     | —   | —     | —   | —     | —   | —     |
| 感染性胃腸炎(ロタウイルス) | —    | —     | —   | —     | —   | —     | —   | —     | —   | —     | —   | —     | —   | —     | —   | —     |

( — : 0 or 0.00 ) ( 空白 : 定点なし )

| 疾病名           | 全県   |       | 岡山市 |       | 倉敷市 |       | 備前  |       | 備中  |       | 備北  |       | 真庭  |       | 美作  |       |
|---------------|------|-------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|
|               | 報告数  | 定点当   | 報告数 | 定点当   | 報告数 | 定点当   | 報告数 | 定点当   | 報告数 | 定点当   | 報告数 | 定点当   | 報告数 | 定点当   | 報告数 | 定点当   |
| インフルエンザ       | 1776 | 21.14 | 450 | 20.45 | 497 | 31.06 | 232 | 15.47 | 281 | 23.42 | 111 | 18.50 | 55  | 18.33 | 150 | 15.00 |
| 咽頭結膜熱         | 7    | 0.13  | 5   | 0.36  | 1   | 0.09  | —   | —     | —   | —     | —   | —     | —   | —     | 1   | 0.17  |
| A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 | 81   | 1.50  | 33  | 2.36  | 22  | 2.00  | —   | —     | 5   | 0.71  | 12  | 3.00  | 5   | 2.50  | 4   | 0.67  |
| 感染性胃腸炎        | 384  | 7.11  | 109 | 7.79  | 59  | 5.36  | 78  | 7.80  | 17  | 2.43  | 50  | 12.50 | 12  | 6.00  | 59  | 9.83  |
| 水痘            | 23   | 0.43  | 8   | 0.57  | 6   | 0.55  | 3   | 0.30  | —   | —     | 2   | 0.50  | —   | —     | 4   | 0.67  |
| 手足口病          | 20   | 0.37  | 6   | 0.43  | 8   | 0.73  | 4   | 0.40  | —   | —     | 2   | 0.50  | —   | —     | —   | —     |
| 伝染性紅斑         | 3    | 0.06  | 1   | 0.07  | 2   | 0.18  | —   | —     | —   | —     | —   | —     | —   | —     | —   | —     |
| 百日咳           | —    | —     | —   | —     | —   | —     | —   | —     | —   | —     | —   | —     | —   | —     | —   | —     |
| ヘルパンギーナ       | —    | —     | —   | —     | —   | —     | —   | —     | —   | —     | —   | —     | —   | —     | —   | —     |
| 流行性耳下腺炎       | 6    | 0.11  | 2   | 0.14  | —   | —     | —   | —     | 1   | 0.14  | —   | —     | —   | —     | 3   | 0.50  |
| 急性出血性結膜炎      | —    | —     | —   | —     | —   | —     | —   | —     | —   | —     | —   | —     | —   | —     | —   | —     |
| 流行性角結膜炎       | 1    | 0.08  | 1   | 0.20  | —   | —     | —   | —     | —   | —     | —   | —     | —   | —     | —   | —     |

濃黄セルに赤数字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル3

薄黄セルに黒数字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル2

を示しています。

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 ( 2015年 第6週 2015/02/02～2015/02/08 )

| 疾病名     | 合計   | -6ヶ月 | -12ヶ月 | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4歳 | 5歳 | 6歳  | 7歳  | 8歳 | 9歳 | 10-14 | 15-19 | 20-29 | 30-39 | 40-49 | 50-59 | 60-69 | 70-79 | 80～ |
|---------|------|------|-------|----|----|----|----|----|-----|-----|----|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----|
| インフルエンザ | 1776 | 4    | 23    | 65 | 79 | 74 | 91 | 99 | 106 | 101 | 83 | 86 | 297   | 59    | 102   | 129   | 143   | 84    | 63    | 52    | 36  |

| 疾病名           | 合計  | -6ヶ月 | -12ヶ月 | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4歳 | 5歳 | 6歳 | 7歳 | 8歳 | 9歳 | 10-14 | 15-19 | 20～ |
|---------------|-----|------|-------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-------|-------|-----|
| RSウイルス感染症     | 30  | 5    | 7     | 16 | 1  | -  | -  | -  | -  | 1  | -  | -  | -     | -     | -   |
| 咽頭結膜熱         | 7   | -    | 1     | 4  | -  | 1  | -  | -  | 1  | -  | -  | -  | -     | -     | -   |
| A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 | 81  | -    | -     | 1  | 5  | 6  | 7  | 12 | 17 | 5  | 6  | 6  | 14    | -     | 2   |
| 感染性胃腸炎        | 384 | 4    | 21    | 50 | 33 | 33 | 21 | 20 | 26 | 13 | 22 | 11 | 49    | 15    | 66  |
| 水痘            | 23  | -    | -     | 2  | 3  | 4  | 1  | 2  | 4  | 3  | 2  | -  | 2     | -     | -   |
| 手足口病          | 20  | -    | -     | 4  | 9  | 4  | 1  | 2  | -  | -  | -  | -  | -     | -     | -   |
| 伝染性紅斑         | 3   | -    | -     | -  | -  | -  | -  | -  | -  | 3  | -  | -  | -     | -     | -   |
| 突発性発疹         | 13  | -    | 10    | 2  | 1  | -  | -  | -  | -  | -  | -  | -  | -     | -     | -   |
| 百日咳           | -   | -    | -     | -  | -  | -  | -  | -  | -  | -  | -  | -  | -     | -     | -   |
| ヘルパンギーナ       | -   | -    | -     | -  | -  | -  | -  | -  | -  | -  | -  | -  | -     | -     | -   |
| 流行性耳下腺炎       | 6   | -    | -     | -  | -  | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | -  | -  | 1     | -     | -   |

| 疾病名      | 合計 | -6ヶ月 | -12ヶ月 | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4歳 | 5歳 | 6歳 | 7歳 | 8歳 | 9歳 | 10-14 | 15-19 | 20-29 | 30-39 | 40-49 | 50-59 | 60-69 | 70～ |
|----------|----|------|-------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----|
| 急性出血性結膜炎 | -  | -    | -     | -  | -  | -  | -  | -  | -  | -  | -  | -  | -     | -     | -     | -     | -     | -     | -     | -   |
| 流行性角結膜炎  | 1  | -    | -     | -  | -  | -  | -  | -  | -  | -  | -  | -  | -     | -     | -     | 1     | -     | -     | -     | -   |

| 疾病名            | 合計 | 0歳 | 1-4 | 5-9 | 10-14 | 15-19 | 20-24 | 25-29 | 30-34 | 35-39 | 40-44 | 45-49 | 50-54 | 55-59 | 60-64 | 65-69 | 70～ |
|----------------|----|----|-----|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----|
| 細菌性髄膜炎         | -  | -  | -   | -   | -     | -     | -     | -     | -     | -     | -     | -     | -     | -     | -     | -     | -   |
| 無菌性髄膜炎         | -  | -  | -   | -   | -     | -     | -     | -     | -     | -     | -     | -     | -     | -     | -     | -     | -   |
| マイコプラズマ肺炎      | -  | -  | -   | -   | -     | -     | -     | -     | -     | -     | -     | -     | -     | -     | -     | -     | -   |
| クラミジア肺炎        | -  | -  | -   | -   | -     | -     | -     | -     | -     | -     | -     | -     | -     | -     | -     | -     | -   |
| 感染性胃腸炎(ロタウイルス) | -  | -  | -   | -   | -     | -     | -     | -     | -     | -     | -     | -     | -     | -     | -     | -     | -   |

( - : 0 )

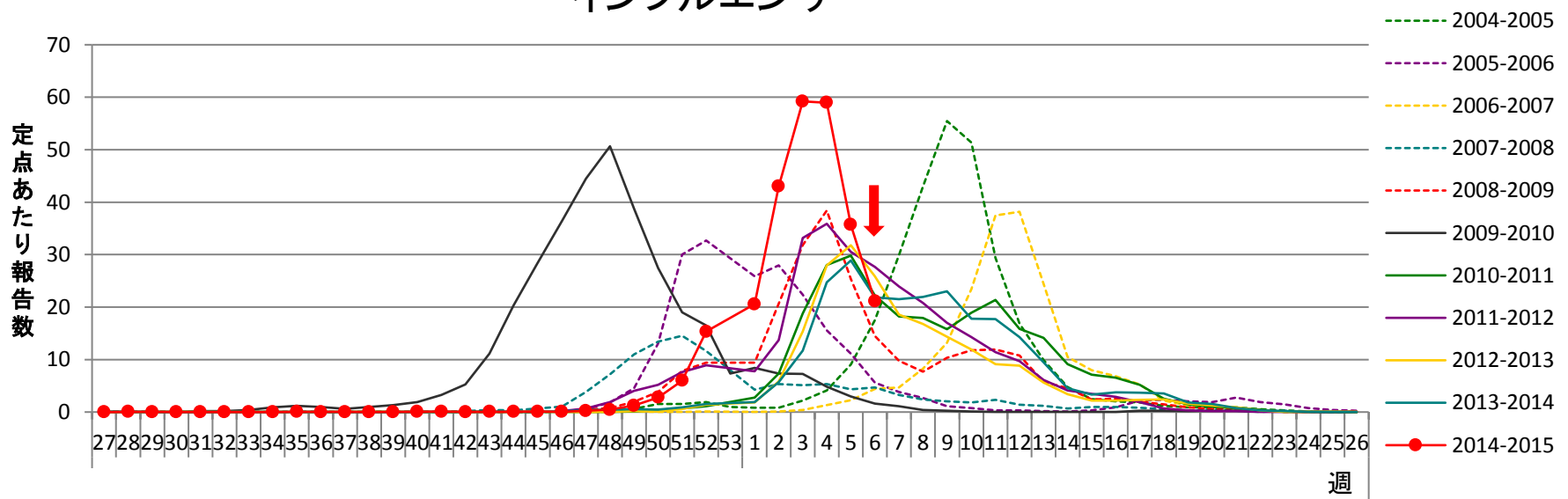


## 全数把握 感染症患者発生状況

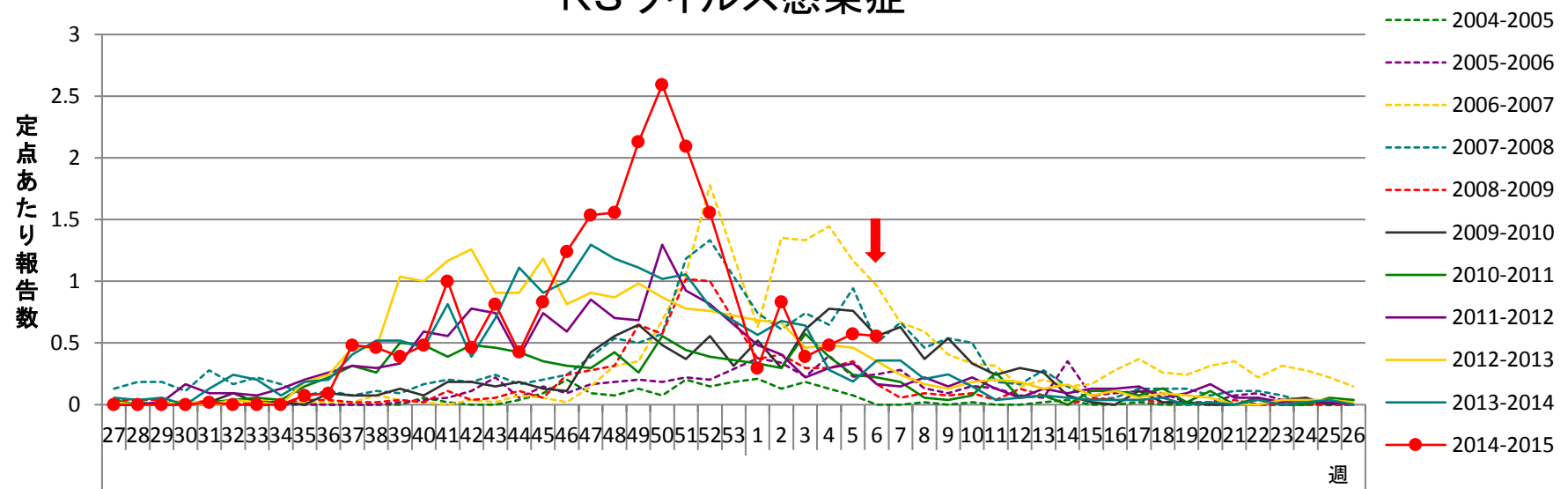
2015 年 6 週

| 分類 | 疾病名             | 2015 |    |            | 疾病名            | 2015 |    |            | 疾病名                | 2015 |    |            |
|----|-----------------|------|----|------------|----------------|------|----|------------|--------------------|------|----|------------|
|    |                 | 今週   | 累計 | 2014<br>昨年 |                | 今週   | 累計 | 2014<br>昨年 |                    | 今週   | 累計 | 2014<br>昨年 |
| 一類 | エボラ出血熱          | －    | －  | －          | クリミア・コンゴ出血熱    | －    | －  | －          | 痘そう                | －    | －  | －          |
|    | 南米出血熱           | －    | －  | －          | ペスト            | －    | －  | －          | マールブルグ病            | －    | －  | －          |
|    | ラッサ熱            | －    | －  | －          |                | －    | －  | －          |                    | －    | －  | －          |
| 二類 | 急性灰白髄炎          | －    | －  | －          | 結核             | 2    | 21 | 380        | ジフテリア              | －    | －  | －          |
|    | 重症急性呼吸器症候群      | －    | －  | －          | 鳥インフルエンザ(H5N1) | －    | －  | －          |                    | －    | －  | －          |
| 三類 | コレラ             | －    | －  | －          | 細菌性赤痢          | －    | －  | －          | 腸管出血性大腸菌感染症        | －    | 2  | 70         |
|    | 腸チフス            | －    | －  | －          | パラチフス          | －    | －  | －          |                    | －    | －  | －          |
| 四類 | E型肝炎            | －    | －  | 2          | ウエストナイル熱       | －    | －  | －          | A型肝炎               | －    | －  | 8          |
|    | エキノコックス症        | －    | －  | －          | 黄熱             | －    | －  | －          | オウム病               | 1    | 1  | －          |
|    | オムスク出血熱         | －    | －  | －          | 回帰熱            | －    | －  | －          | キャサヌル森林病           | －    | －  | －          |
|    | Q熱              | －    | －  | －          | 狂犬病            | －    | －  | －          | コクシジオイデス症          | －    | －  | －          |
|    | サル痘             | －    | －  | －          | 重症熱性血小板減少症候群   | －    | －  | 2          | 腎症候性出血熱            | －    | －  | －          |
|    | 西部ウマ脳炎          | －    | －  | －          | ダニ媒介脳炎         | －    | －  | －          | 炭疽                 | －    | －  | －          |
|    | チクングニア熱         | －    | －  | －          | つつが虫病          | －    | －  | 2          | デング熱               | －    | －  | 1          |
|    | 東部ウマ脳炎          | －    | －  | －          | 鳥インフルエンザ       | －    | －  | －          | ニバウイルス感染症          | －    | －  | －          |
|    | 日本脳炎            | －    | －  | －          | 日本紅斑熱          | －    | －  | 4          | ハンタウイルス肺症候群        | －    | －  | －          |
|    | Bウイルス病          | －    | －  | －          | 鼻疽             | －    | －  | －          | ブルセラ症              | －    | －  | －          |
|    | ベネズエラウマ脳炎       | －    | －  | －          | ヘンドラウイルス感染症    | －    | －  | －          | 発しんチフス             | －    | －  | －          |
|    | ボツリヌス症          | －    | －  | －          | マラリア           | －    | －  | －          | 野兔病                | －    | －  | －          |
|    | ライム病            | －    | －  | －          | リッサウイルス感染症     | －    | －  | －          | リフトバレー熱            | －    | －  | －          |
|    | 類鼻疽             | －    | －  | －          | レジオネラ症         | －    | 3  | 32         | レプトスピラ症            | －    | －  | －          |
|    | ロッキー山紅斑熱        | －    | －  | －          |                | －    | －  | －          |                    | －    | －  | －          |
| 五類 | アメーバ赤痢          | －    | 3  | 12         | ウイルス性肝炎*3      | －    | 1  | 7          | カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染  | －    | 1  | 12         |
|    | 急性脳炎*4          | －    | 1  | 9          | クリプトスポリジウム症    | －    | －  | －          | クロイツフェルト・ヤコブ病      | －    | －  | 1          |
|    | 劇症型溶血性レンサ球菌感染症  | －    | －  | 3          | 後天性免疫不全症候群     | －    | 2  | 20         | ジアルジア症             | －    | －  | 1          |
|    | 侵襲性インフルエンザ菌感染症  | －    | －  | 2          | 侵襲性髄膜炎菌感染症     | －    | －  | －          | 侵襲性肺炎球菌感染症         | －    | 6  | 26         |
|    | 水痘(入院例に限る。)     | －    | －  | 6          | 先天性風しん症候群      | －    | －  | －          | 梅毒                 | －    | －  | 20         |
|    | 播種性クリプトコックス症    | －    | －  | －          | 破傷風            | －    | －  | 1          | バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染 | －    | －  | －          |
|    | バンコマイシン耐性腸球菌感染症 | －    | －  | 2          | 風しん            | －    | －  | 2          | 麻しん                | －    | －  | 6          |
|    | 薬剤耐性アシネトバクター感染症 | －    | －  | －          |                | －    | －  | －          |                    | －    | －  | －          |

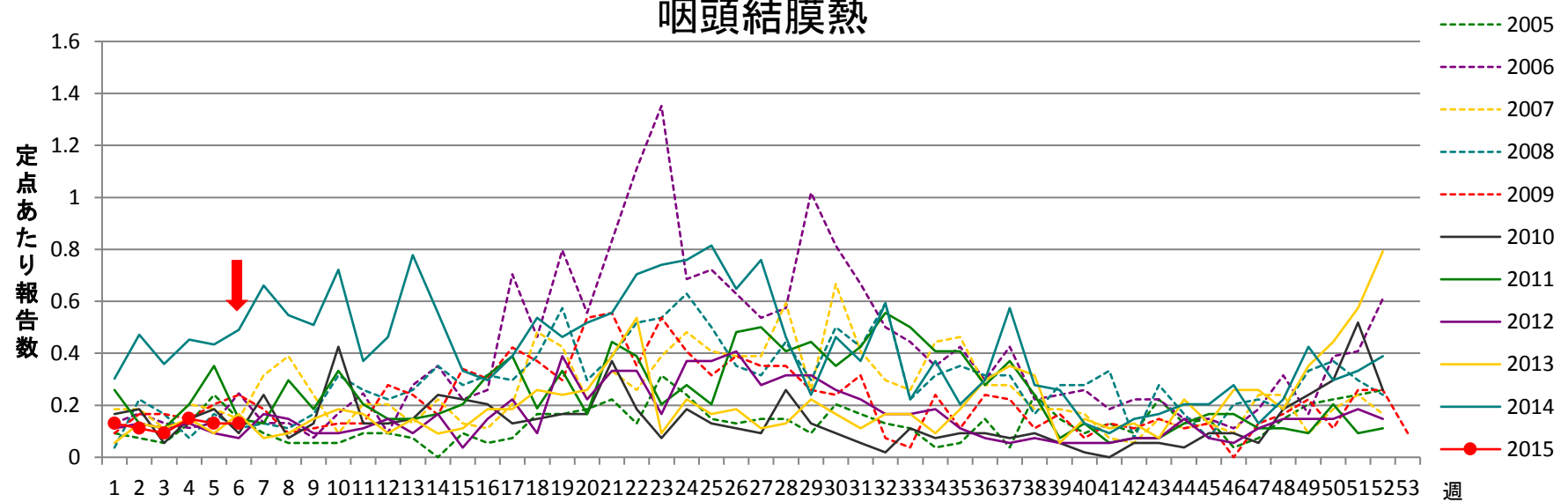
## インフルエンザ



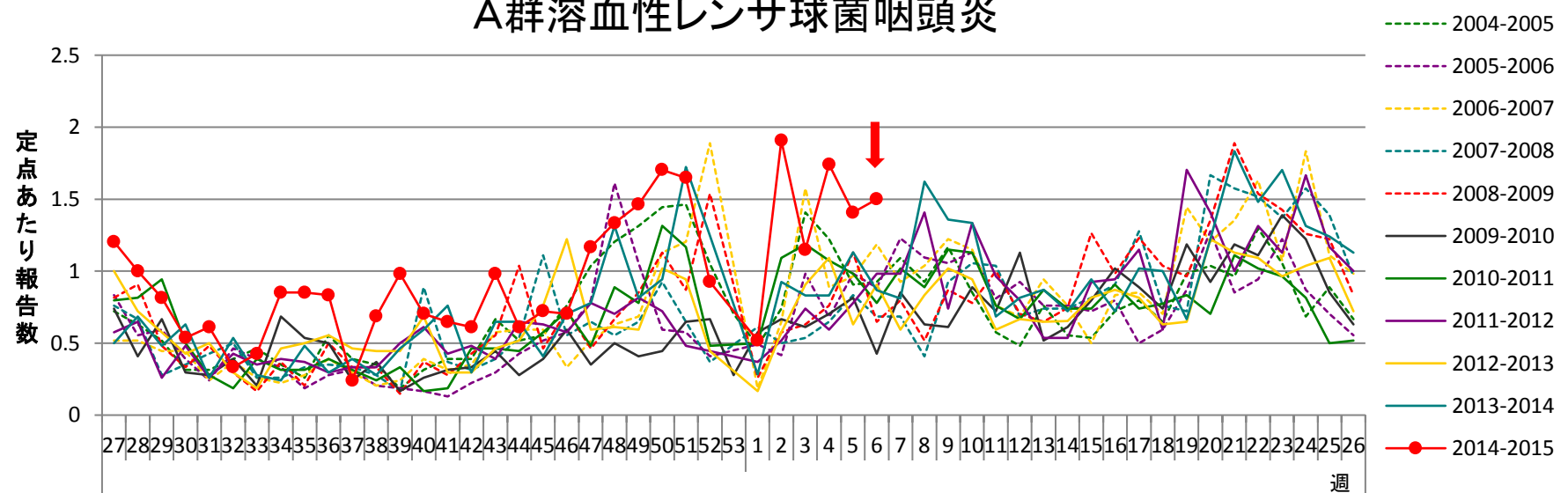
## RSウイルス感染症



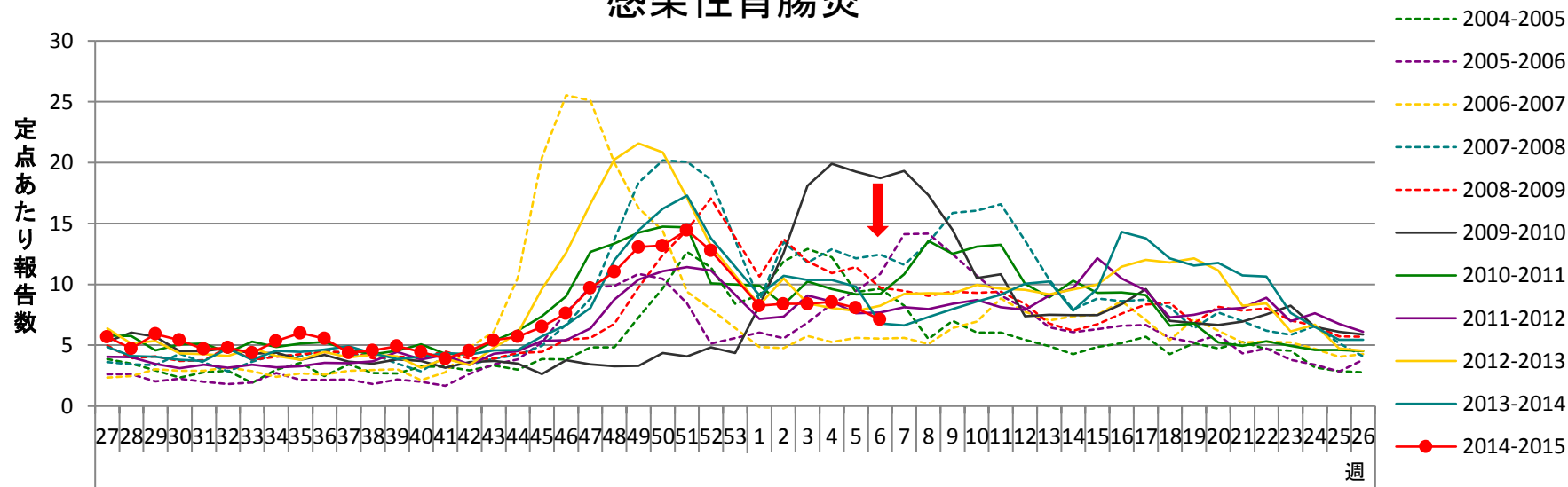
## 咽頭結膜熱



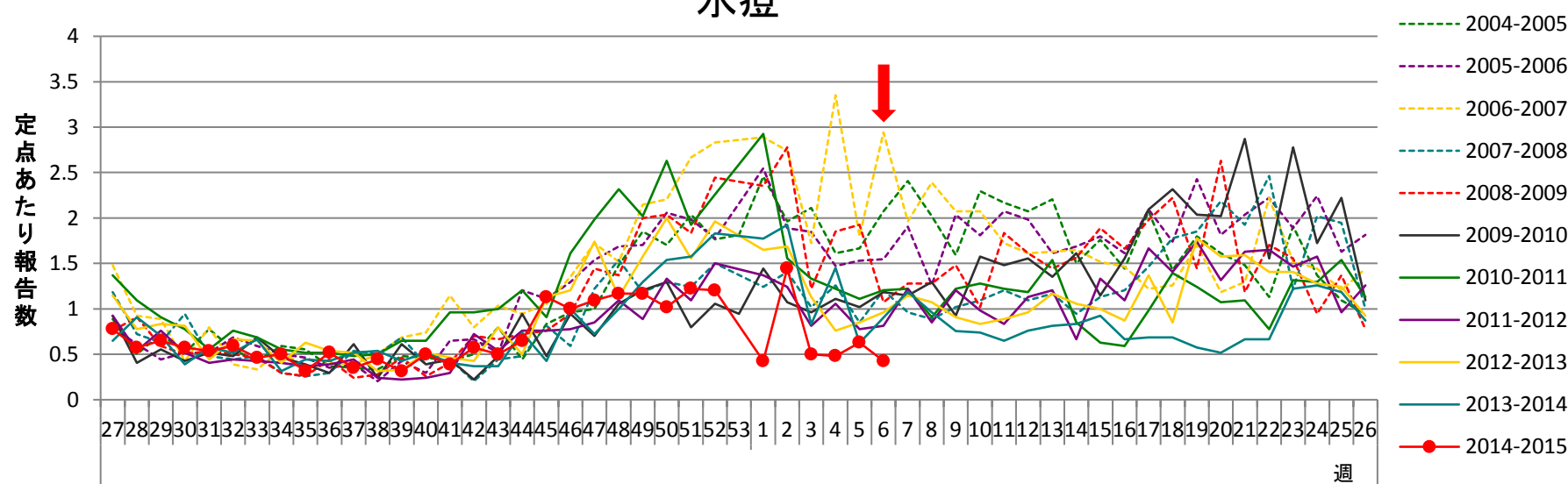
## A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



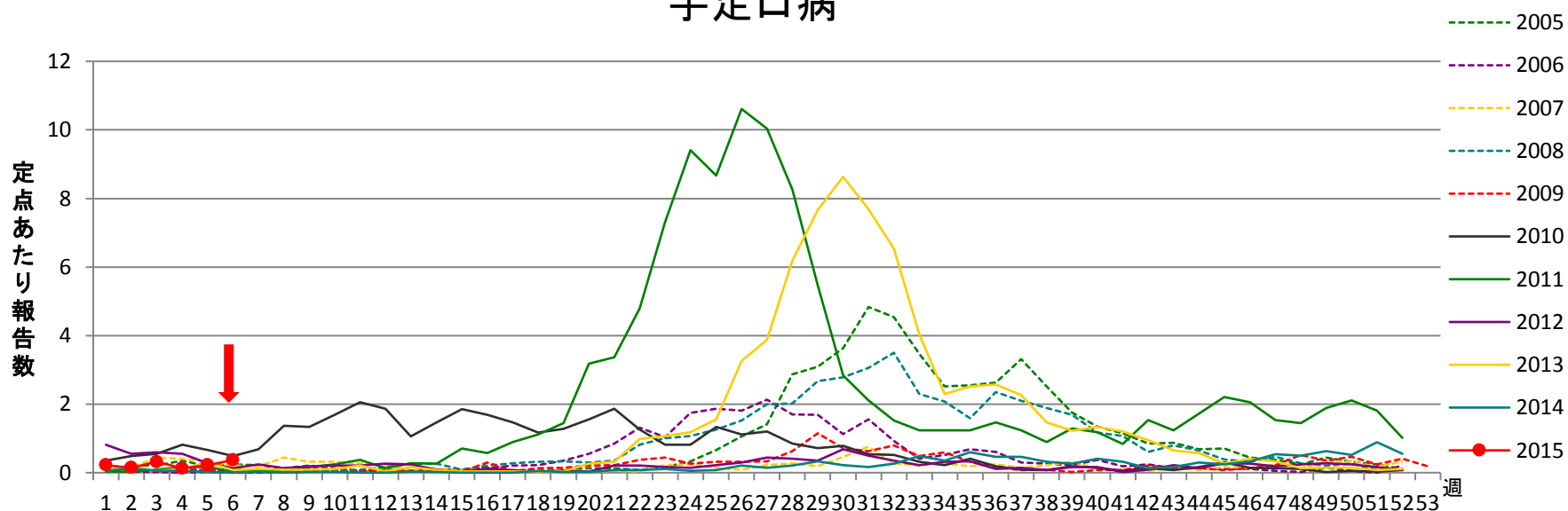
## 感染性胃腸炎



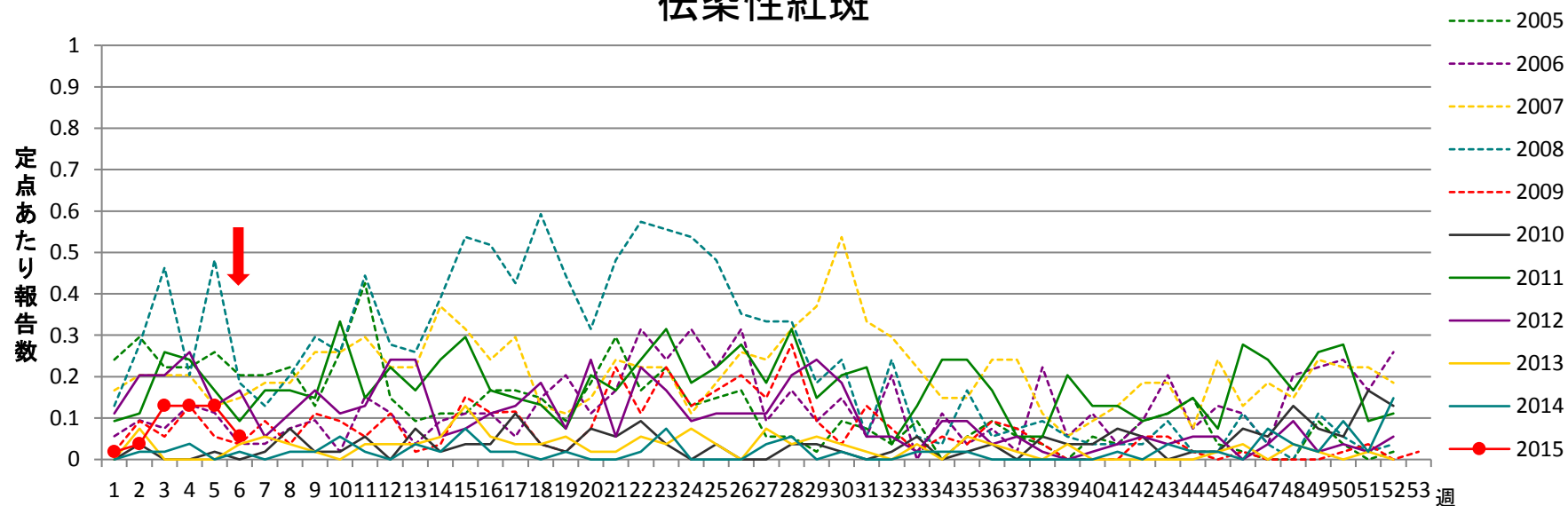
## 水痘



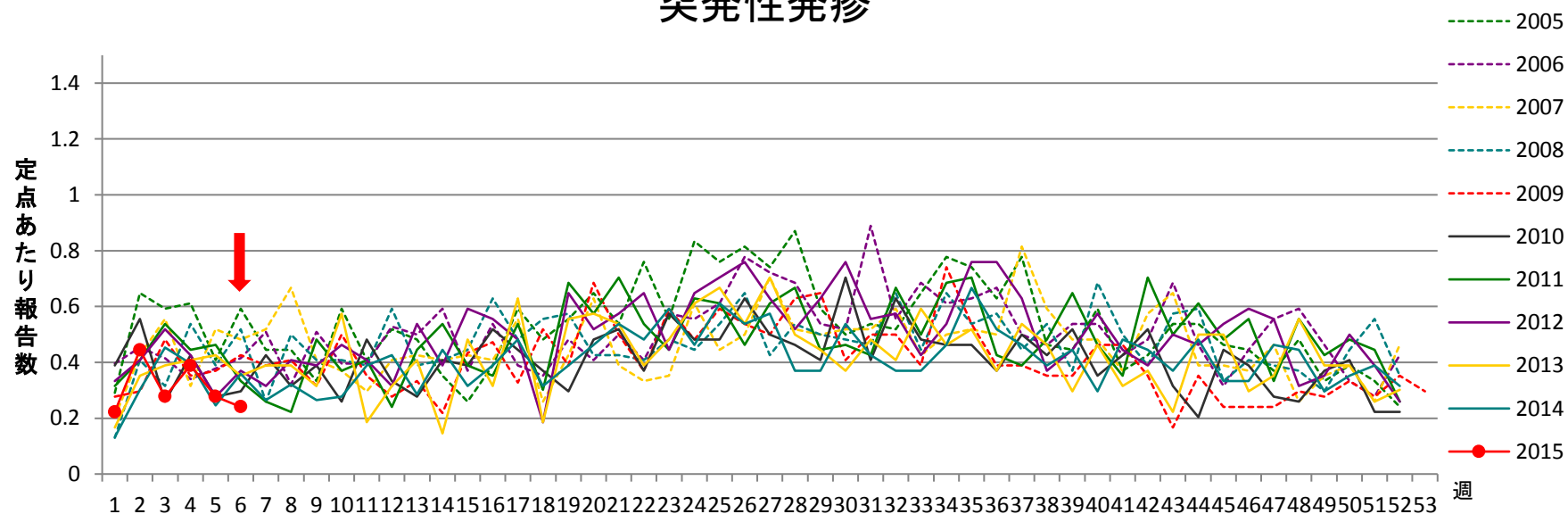
## 手足口病



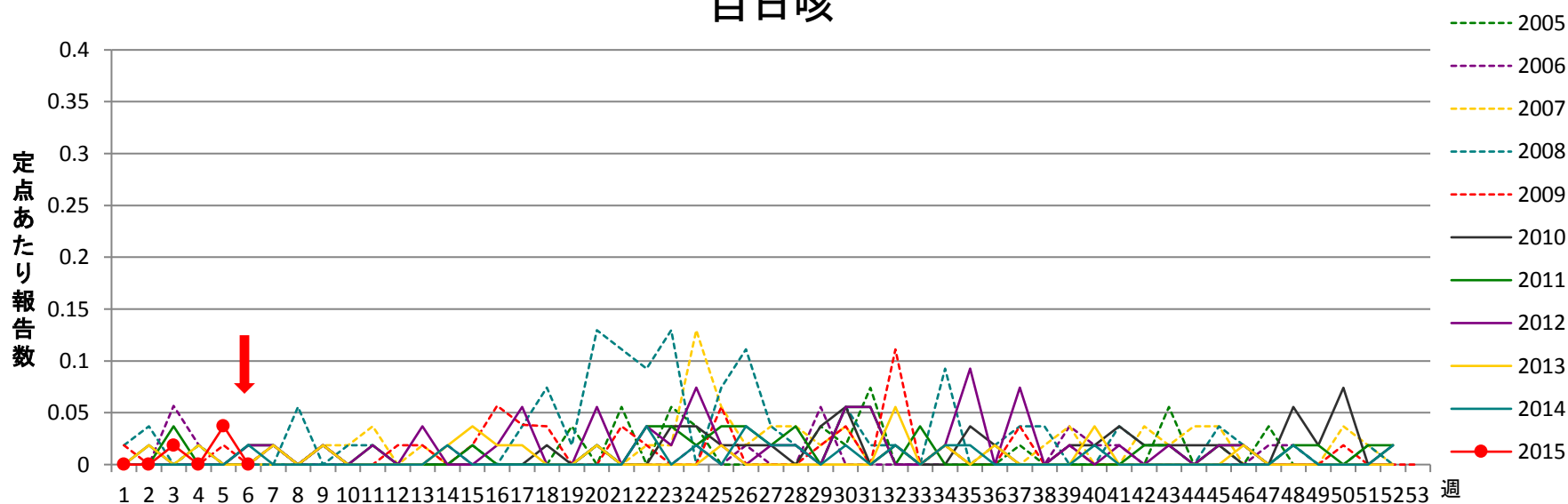
## 伝染性紅斑



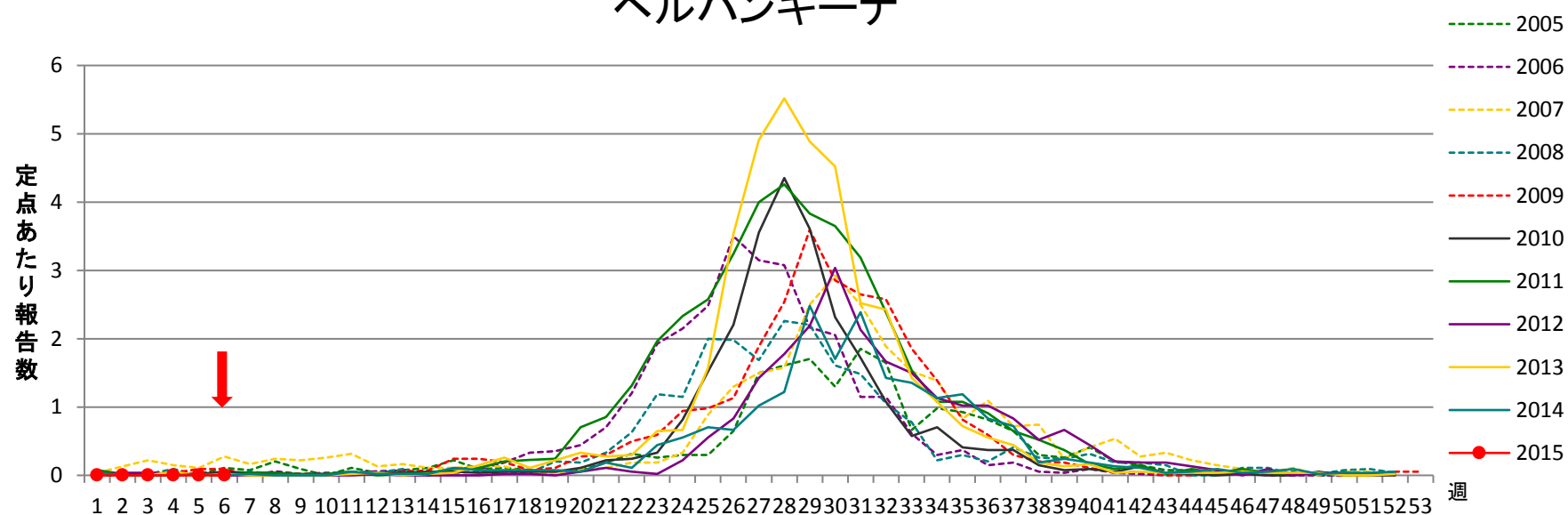
## 突発性発疹



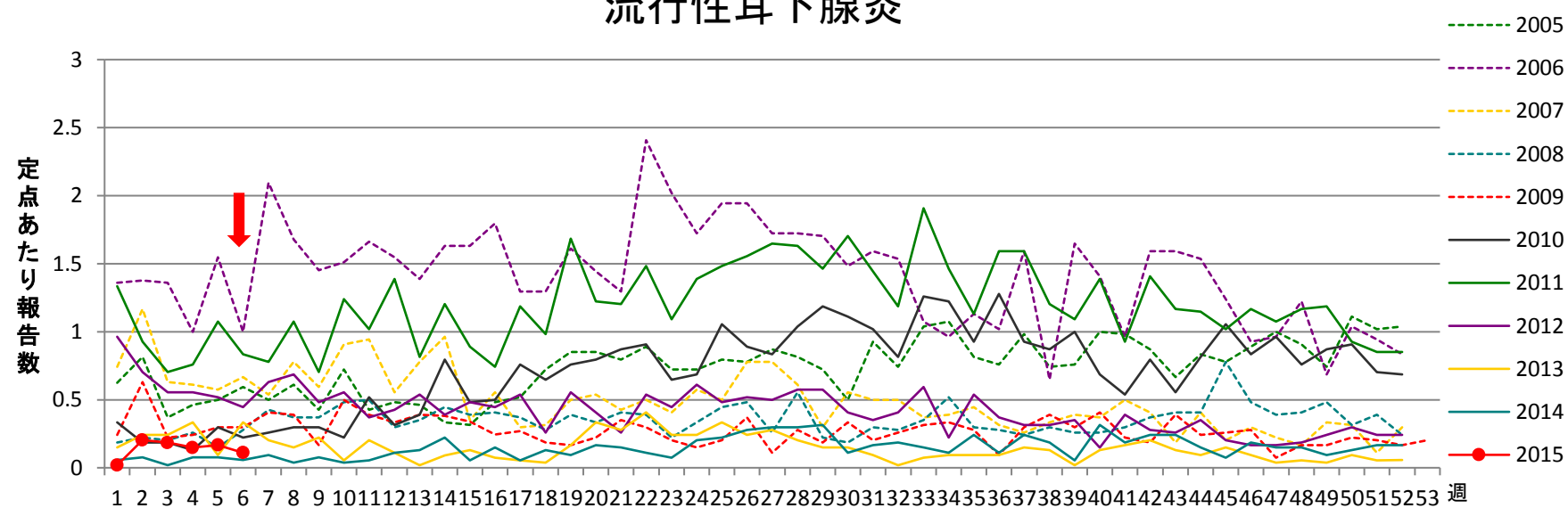
## 百日咳



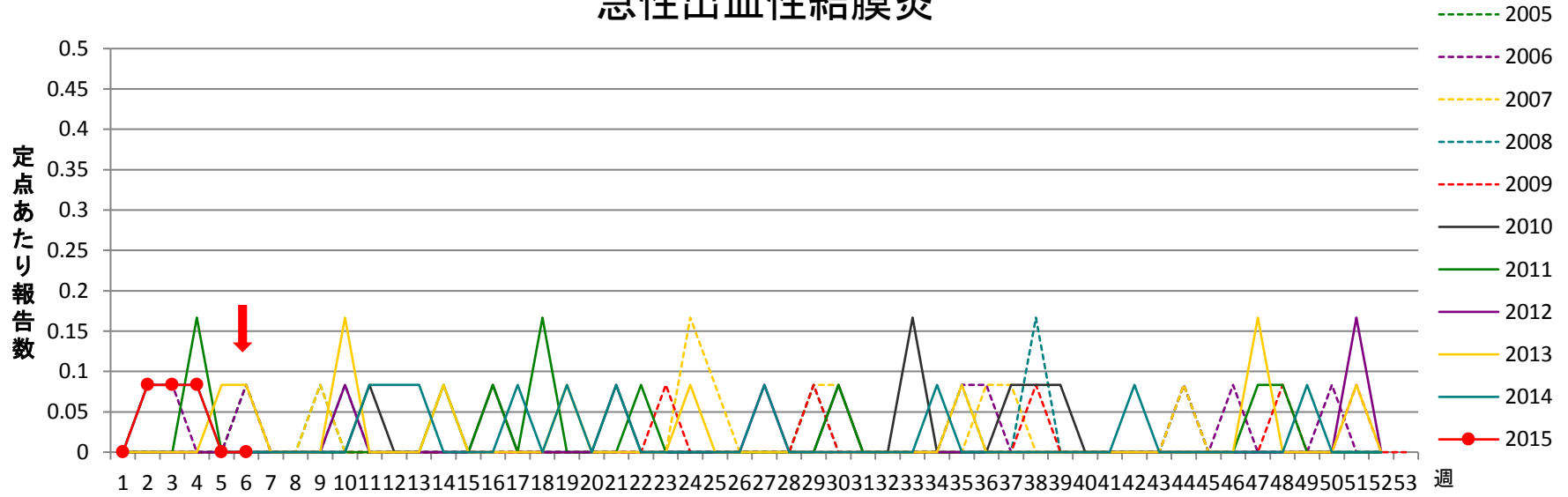
## ヘルパンギーナ



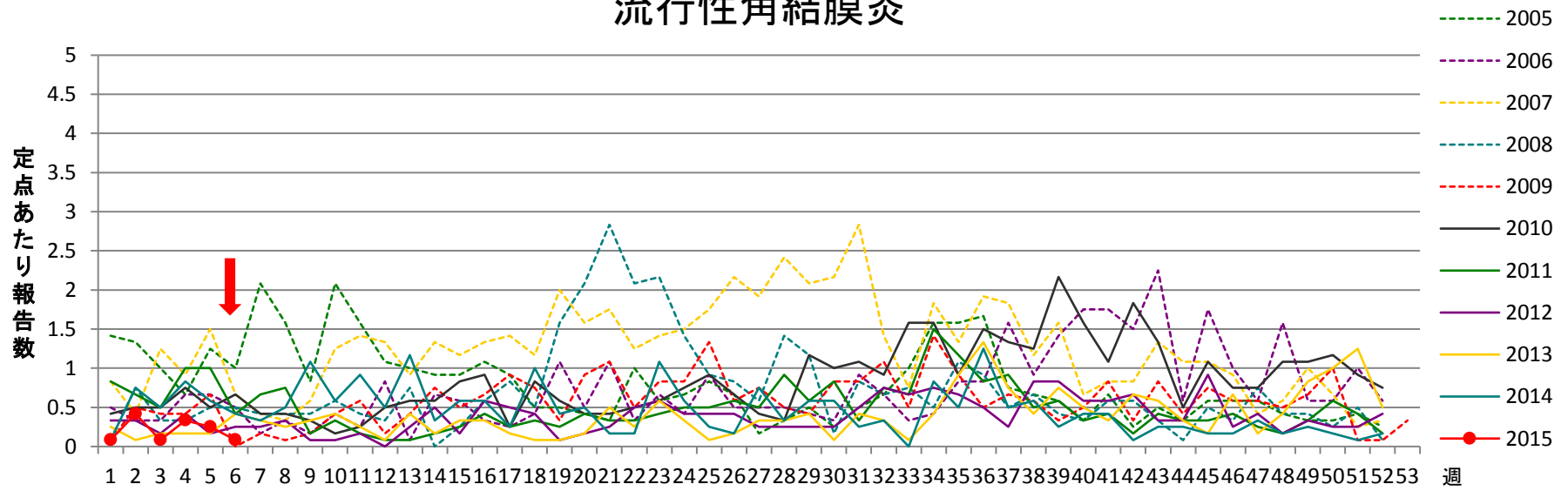
## 流行性耳下腺炎



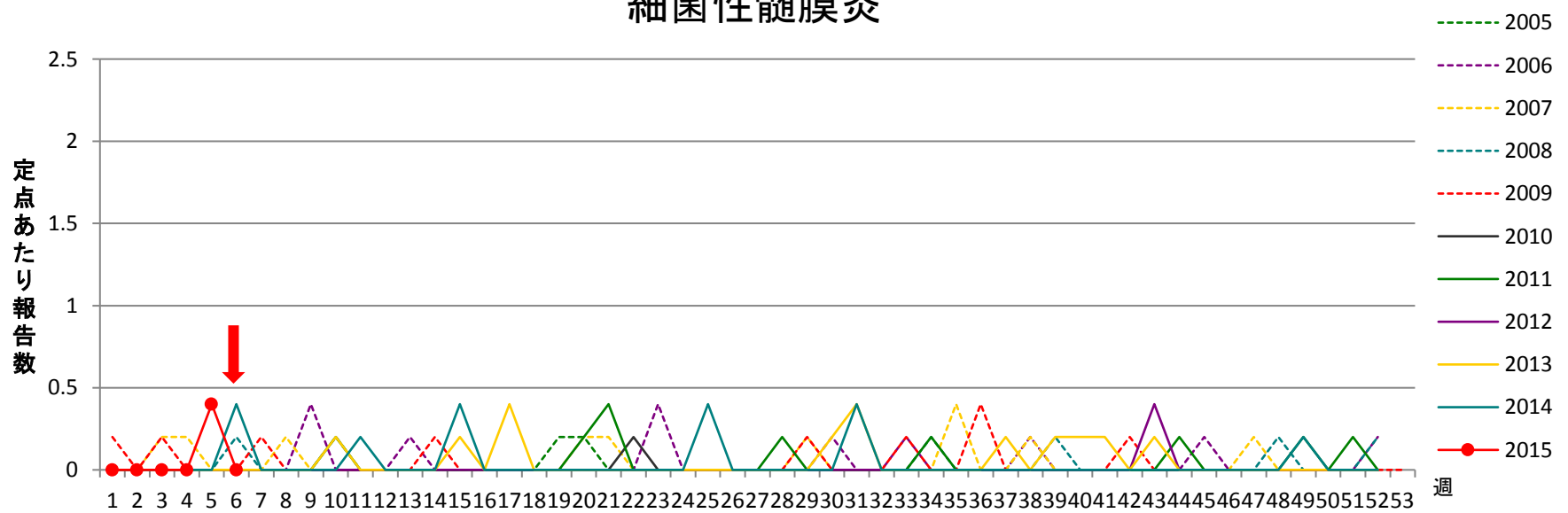
# 急性出血性結膜炎



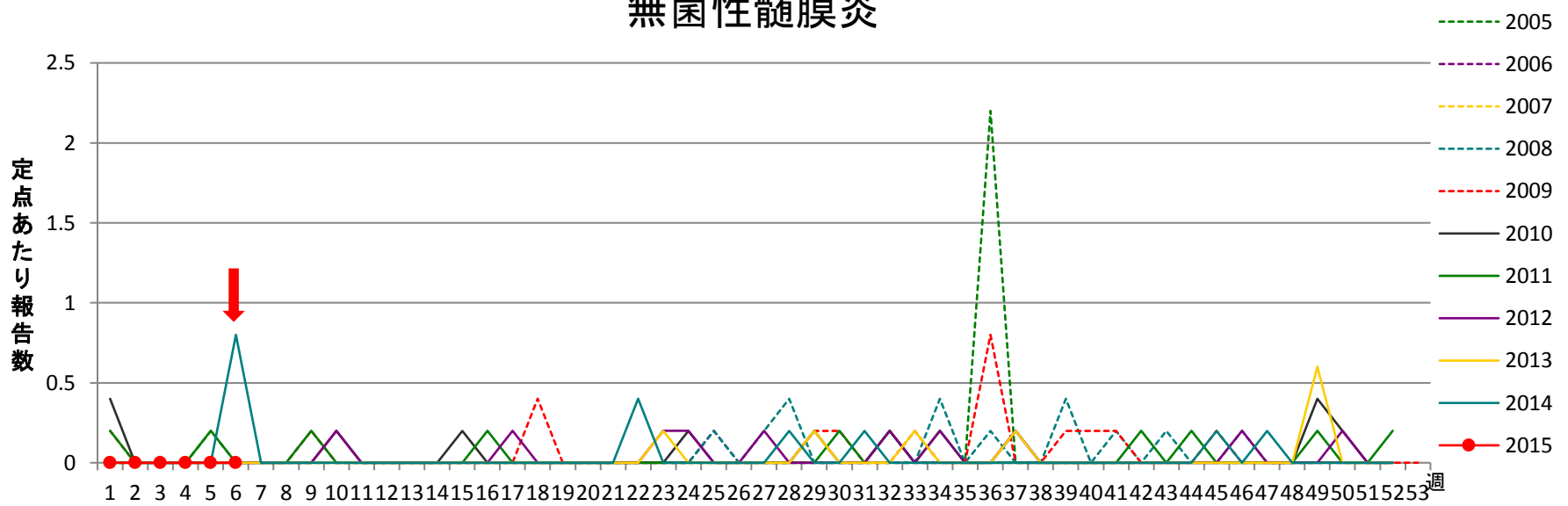
## 流行性角結膜炎



# 細菌性髓膜炎

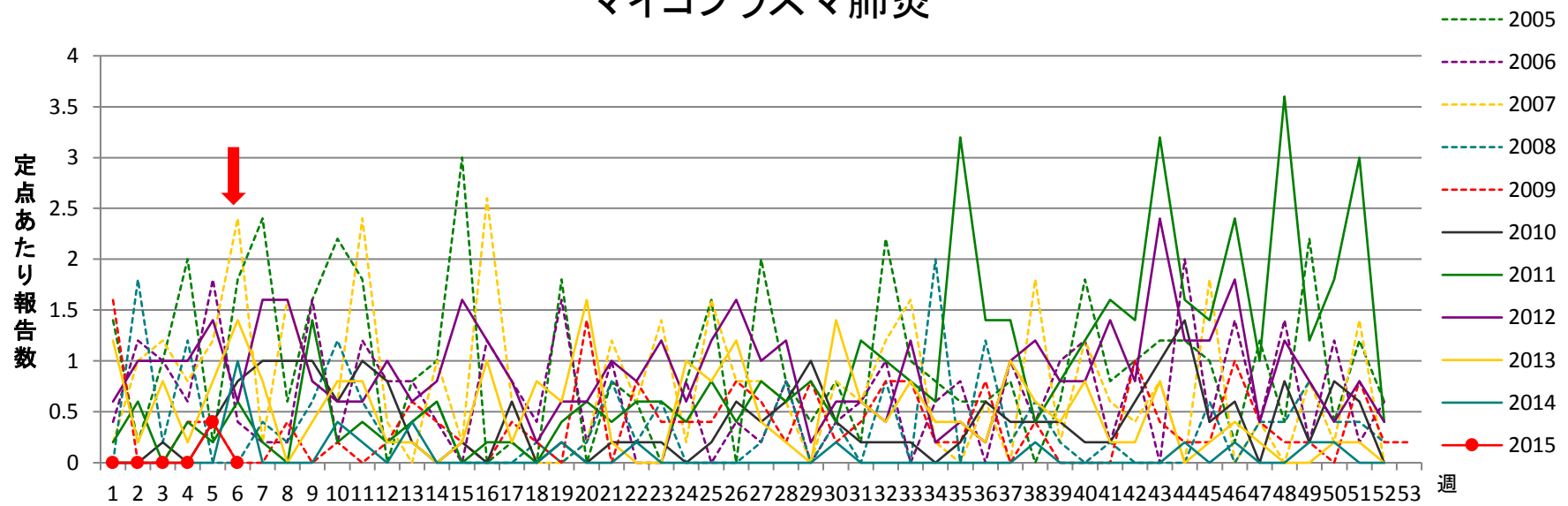


## 無菌性髄膜炎

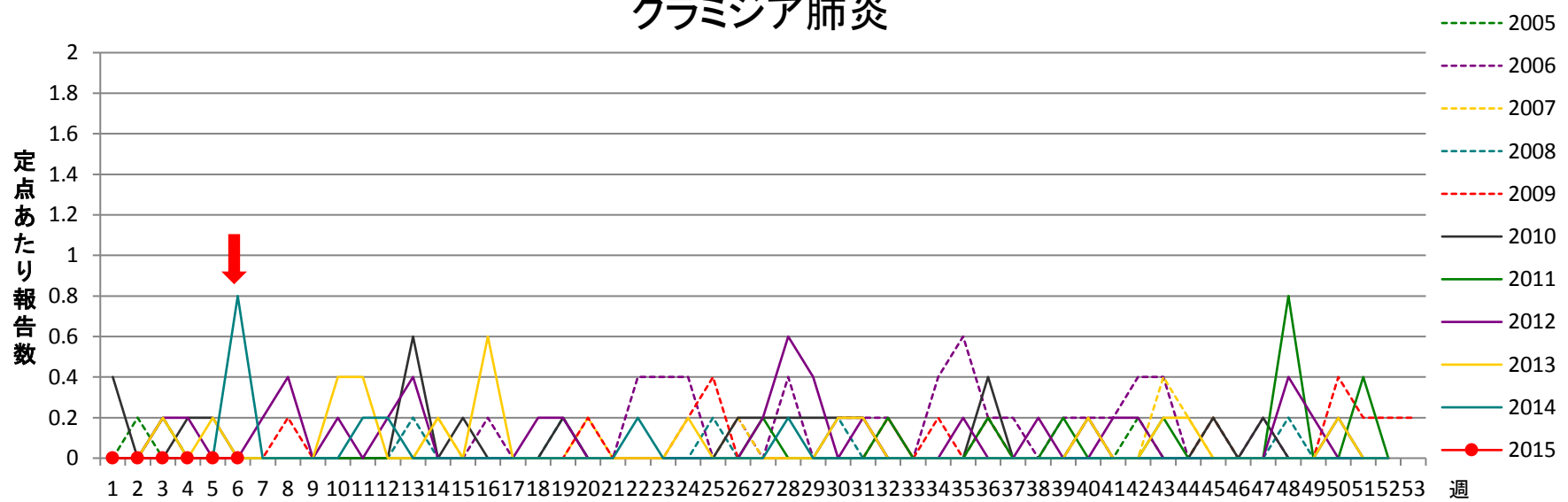




## マイコプラズマ肺炎



## クラミジア肺炎



## 感染性胃腸炎(ロタウイルス)

